

山崎小学校創立 100 周年

記念誌

平成24年(2012年)1月14日

横須賀市立山崎小学校





ふれあいを だいに はぐくみ 100周年





航空写真 空から見た母校



昭和30年

校庭を取り囲むように木造校舎がありました。
全校児童数 1480名



昭和51年

現在の第1校舎（鉄筋）と木造校舎2棟が
ありました。

全校児童数 1031名



昭和54年

木造校舎2棟解体、現在の第2校舎完成
全校児童数 1126名



平成4年

創立80周年記念写真
全校児童数 629名



平成22年9月
創立100周年記念写真
全校児童数 509名



当時の児童より募集しデザイン画されたもの



空からの学校周辺の様子



●校章



市章にちなんで、横須賀港にゆかりのある艦船の羅針盤をかたどっている。

方位を示す矢印が「山」を表し、その中にカタカナで「サキ」を図案化して校名を表している。

羅針盤には、子どもたちが目指す所に向かって力強く進んでほしいという願いがこめられている。

●校旗



昭和7年、田中敏氏によって寄贈されたものであり、入学式・卒業式・運動会などの学校行事には欠くことのできない学校のシンボルである。

●門標





横須賀市立山崎小学校 校歌

土岐 善磨 作詞
信時 潔 作曲

♩=112 あかしく たのしく

すまに こしやのやどか ーにににに ーきふ たつは はとひの かろけ げくも
りたこ ろいに そま らでく のも しあは たけこ にてり たみも てれち ばばて
はくと ろしよ みてつ くるぬ しよに あやた くらま たやゆ のまこ しへう
あおひ きこく やとる にくま ふかゆ くらか ーにー つしと ぼろこ みほろ

横須賀市立山崎小学校 校歌

(1) 桜は庭に 木の実は丘に

春も秋も 明るくたのし

あざやかに ふくらむつぼみ

すこやかに そだつ葉のかけ

広い空の下に 立てば

自然は いつも 新しい

(2) ひろがる浪に かがやく港

雲は照るよ 山から山へ

沖遠く かくれる白帆

かもめ飛び 汽笛とどろく

高い窓を あけて見れば

世界につづく 潮の色

(3) 正しい心 丈夫なからだ

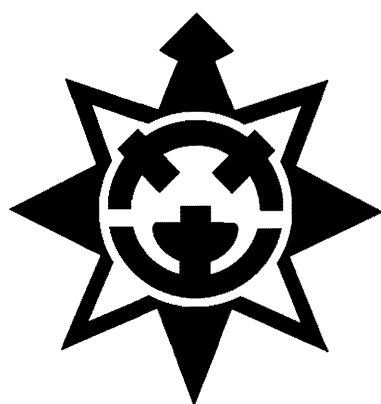
友よ つねに たゆまずゆうこう

人くるま ゆきかうところ

にぎやかに 道はひらける

ここに学ぶ ほこりもちて

山崎小学校 われらあり



目 次

カラー口絵

スローガン・航空写真・校章・校旗・門標

校 歌	5
あいさつ	8
祝 辞	10
学校史年表	12
歴代校長先生の当時の思い出	36
地域の方々よりごあいさつ	38
山崎小アルバム	40
校舎の移りかわり・児童数の移りかわり・記念行事・授業風景 運動会・クラブ活動・修学旅行・給食・P T A	
山崎小学校の思い出	74
創立100周年記念事業実行委員会名簿	86
あとがき	89



「あいさつ」

学校長 柏木 雅一

ここに『山崎小学校創立 100 周年記念誌』を刊行します。

本校では創立記念誌として、60 周年記念誌・80 周年副読本が既に編集・発行されています。100 周年記念誌の作成に当たっては、諸先輩方の記録を最大限に生かしながら、かつ全面増補改訂しました。

この『記念誌』は、資料提供など多くの方々のご協力を得て出来上がりました。新しく明らかになった事実も含めて、本校の歩みの大筋が表記されています。

本校は、横須賀市で 9 番目の学校として現在地に新設され、戦前・戦後を通じ学区の変遷はあったものの、同一位置にありました。この三春町・堀の内の地域に生まれ、地域の方々に支えられ、地域と共に歩んできた学校で、地域の方々をはじめ、多くの先達の方々の本校に寄せる熱い思いが並々ならぬ重さであることを感じます。

明治 45 年平屋の校舎が建築され、開校以来たび重なる増改築を経て、現在に至っていますが、その間関東大震災による校舎の倒壊、昭和 40 年の火災による校舎や講堂の焼失という暗い歴史もありました。

また、戦前・戦後において、児童数の増加に校舎の増築が追いつかずに、やむなく 2 部授業がなされたことがあり、児童の日常生活と学習の基盤そのものであるべき校舎・教室・運動場の確保と改善への先達の方々のご苦労は、まさに心血を注ぐものでした。

もとより学校というところは、過去を懐

かしむよりも、未来を担う子ども達の日々の健全な生活と学習を創り出すことが最も重要です。しかし、「過去に目をつぶる者は、未来を失う」という言葉がありますが、日々の営みが未来に向けて明るい方向性を持つものであるためにも、本校が歩んできた歴史（過去）を記録し、そこから学ぶべき多くのものをくみ取ることも大切と考えます。この記念誌が、そうした本校の歩み全てに思いを馳せ、また未来に向けて力を込めて歩き続ける一つの糧として活用されることを切に願っております。

本校の 100 周年に当たって目指すものは、児童を中心とした山崎小学校に関わる人々の明るい活力（生きる力）、前進する活動力を創り出していくことだと思えます。これまでの様々な発想や工夫、試行錯誤をしながら展開されてきた活動は、児童中心とした私たちの未来への大きな活力と希望に火を灯し、永く生きていくと確信します。

今までのご理解やご協力に深甚の感謝と敬意を表します。今後とも温かくときには厳しく本校を見守っていただきたくお願いいたします。



「創立 100 周年を迎えるにあたり」



PTA 会長
内田 吉彦
(昭和 55 年卒業)

母校である山崎小学校が創立 100 周年を迎えること、心よりお祝い申し上げます。

また、記念すべき年に P T A 会長として携われましたことを光栄に存じます。

現在は、快適な環境のなかでのびのびと子ども達が育まれています。100 年の間には、幾多の困難が起こったことと推察されます。これらを乗り越え、山崎小学校が地域の中で輝き続けたことに感激を覚えずにはいられません。ひとえに、地域の皆様、保護者の皆様、学校関係者の皆様のお陰と P T A を代表して心より感謝申し上げます。

さて、私の在校時に新校舎の建設が始まり、完成の期待を胸一杯に、プレハブ校舎で学んだ日々を鮮明に覚えています。当時と比べますと、児童数も半分程度となり、また子ども達をとりまく環境も大きく変化してまいりました。P T A といたしましては、地域の宝である子ども達が、健全かつ安全に「よく学び、よく遊べ」を実践できる環境整備に取り組んでまいりたいと思います。

私たちは、この 100 周年を機に改めて長い伝統の重みを確認することができました。学校、地域、保護者が連携し、このすばらしい伝統を継承し、新たな歴史を積み重ねてまいる所存です。

最後になりますが、100 周年にあたり、長期間ご尽力いただきました皆様に御礼申し上げます。これからも、山崎小学校に対し変わらぬご理解ご支援をお願い致します。

「山崎小学校創立 100 周年慶祝」



創立 100 周年
実行委員長
岡 照夫

山崎小学校創立 100 周年、誠におめでとうございます。100 年という年月の間には、色々な事があったと思います。中でも今年 3 月 11 日に発生した大震災では、多くの方が被災されました。ご家族をはじめ関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

山崎小学校は、この地で 100 年もの間、多くの子ども達を見守ってきたことでしょうか。物にあふれ便利に暮らすことが当たり前になっている今日、私達の姿は、どのように映っていた事でしょうか。今回の震災を世の中の有りように対する警告と考え、難に遭わなかった者も我が事と受け止め、心の向きを正すと共に、進んで助けの手を差し伸べる事が求められていると思います。今こそ家族の絆、家族団欒が大切です。今を生きる我々大人が、生かされていることに感謝し、火、水、空気等、自然の恵みを大切に、慎みの精神、そして人の為尽くす心をもって助け合って歩む姿を、これからの子ども達に映していかなければならないと思います。

百という字は白紙に戻り一より始まる再出発を表し、100 周年は節目の年と考える事が出来ます。生まれ変わってもう一度飛躍する為の足掛かりと捉え、創立の元一日を振り返り、当時携わって下さった多くの先人たちの思いと変わらぬ心で、100 年という大切な句をお祝いしたいと思います。

最後になりましたが、創立 100 周年に心をお寄せ戴きました多くの皆様に心よりお礼申し上げます。



「祝 辞」

横須賀市長 吉田 雄人

山崎小学校が、創立 100 周年という誠に記念すべき年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

今日の晴れやかなる式典の開催に当たり、PTA の皆様をはじめ、本校ゆかりの皆様及び日頃から児童を温かく見守ってくださっている地域の皆様、校長先生、教職員の皆さんには、多大なお骨折りをいただきました。厚くお礼申し上げます。

本校は、横須賀のほぼ中央に位置し、東京湾に浮かぶ猿島を眺め、古くから交通の要所でした。また、現在は三春町として海側は土地の開発が進み、山側には閑静な住宅が広がる地域にあります。緑豊かな自然に囲まれ、春には桜が、秋には創立時の記念として植えられた大いちょうが季節を彩り、子どもたちに希望とやすらぎを与えています。

本市も市制 104 周年を迎えました。本校の歴史を顧みると、まさに明治・大正・昭和・平成と、これまで歩んできた激動の年月とともにあったのだと、誠に感慨深く思います。

将来を担う子どもたちの、心身ともに健やかな成長において、学校教育の果たすべき役割は、言うまでもなく多大なものです。今、これまで以上に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた「生きる力」の育成が謳われています。

この「生きる力」を育てるには、家庭及び地域社会のそれぞれが、その使命と役割を認識した上で、学校と連携を取りながら支援していくことが重要となります。

本校は創立当初から、子どもたちの自主性を尊重し、社会の一員としての自覚を持つ人間性豊かな子どもたちを育成するため、教職員だけでなく、深く郷土や学校を愛する地域や保護者の方々の熱意により、地域社会に立脚した教育が脈々と受け継がれてきました。

記念すべき創立 100 周年を迎えた山崎小学校が、この素晴らしい伝統を礎として、新たな創意工夫のもと、これからの激しい変化の予想される未来に向けて、「あたらしい横須賀」を担っていく、健やかなる心身と旺盛な探求心とを兼ね備えた子どもたちを、今後も育み続けていかれることを願ってやみません。

結びに、山崎小学校が今日までの輝かしい校史の上に、さらなる発展を遂げますよう、また、関係の皆様のみますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉と致します。



「100周年を祝して」

横須賀市教育委員会
教育長 永妻 和子

明治45年（1912年）、市内9番目の学校、尋常山崎小学校として、この地に開校した本校が、今年100周年の記念すべき節目を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

昭和22年（1947年）に横須賀市立山崎小学校と名を変え、時代とともに教育活動を展開しながら、11,000人もの卒業生を輩出してまいりました。これからの150年、200年という更なる歴史と伝統の構築に向けて、新たな第一歩を踏み出そうとする本校に寄せられる期待は、ますます大きいものであると思います。

この100年の歴史の中で、地域の皆様には、それぞれの時代を通して、多大なご支援をいただいております。現在も、見守りパトロール活動では、早朝から放課後まで、毎日、学区全般にわたり子どもたちの安心・安全のためにお力を注いでいただいております。


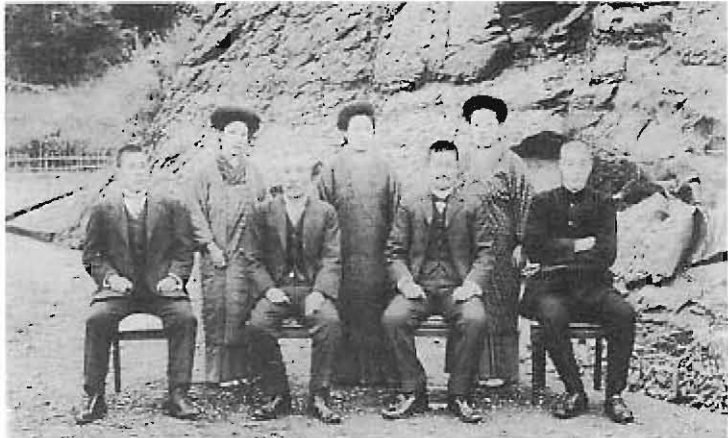

本校の教育目標は「明るく元気な子」「よく考え進んで行動する子」「やさしい心をもったたくましい子」を育成することであり、その目標を実現するためにさまざまな教育活動が行われておりますが、本校が実践している支援教育は、児童のコミュニケーション能力の育成を図ること、わかる授業づくりに努めること、「仲間づくり」に重点をおいた集団をつくることを目指しており、コミュニケーション能力の育成が必須な現代社会において、極めて重要な意味を持つと考えております。

保護者、地域の皆様に温かく見守られ、豊かな自然環境のもと、本校の子どもたちは四季を彩る校庭の木々のように素直に育ってまいりました。このように地域とともに歩む本校の取り組みが、今後更に充実し、発展していくことを切に願うところです。



最後になりましたが、日頃から本校教育に対するご理解とご協力をいただいております地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、歴代校長先生を始め諸先生方の熱心なご指導に対し敬意を表します。これからも本校の教育が一層の充実と発展を遂げられ、新たな輝かしい歴史を築いていかれることを祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。








山崎小学校史年表（1912～2012年）

校長	年代	できごと
初代 柴田 松蔵 	1912年 (明治45年)	1月14日 尋常山崎小学校開校（勅語謄本御下賜） 校舎竣工（4教室・職員室・宿直室・使丁室・トイレ） 4学年まで4学級編成（240名） 通学区域「山崎・堀之内・神金（現在の公郷町） 田戸・宗源寺・佐野町の一部」 3月 横須賀市章制定 4月 5学年まで5学級編成（303名）
	1913年 (大正2年)	3月 校舎増築（2階建4教室・トイレ・物置） 4月 6学年まで6学級編成（357名）
	1914年 (大正3年)	3月 第1回卒業生33名  <p style="text-align: center;">第1回卒業時の先生方</p>
		 <p style="text-align: center;">本校最初の卒業生</p> 7月 トイレ（3ヶ所 2坪）設置 第一次世界大戦始まる







校 長	年代	できごと
<p>第2代 吉川 誠吉</p> 	<p>1915年 (大正4年) 1917年 (大正6年) 1918年 (大正7年)</p>	<p>3月 就任</p> <p>7月 磨場0.5坪 渡廊下屋根1坪設置</p> <p>10月 御影奉戴</p> <p>2部授業 (1・2年4学級)</p>  <p>授業風景 体操</p>  <p>大正8年卒業記念 男子</p>  <p>大正8年卒業記念 女子</p>



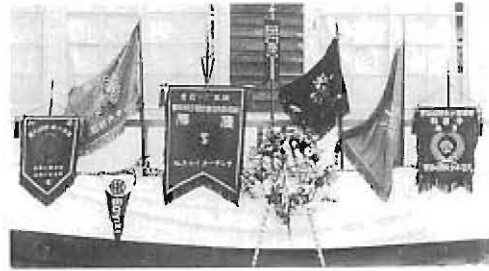


校長	年代	できごと
<p>第3代 福本 新吉</p> 	<p>1919年 (大正8年) 1920年 (大正9年) 1921年 (大正10年) 1922年 (大正11年)</p>	<p>2部授業 (1～3年まで6学級) 2部授業 (1～4年まで8学級) 2部授業 (1～4年まで8学級) 2月 田戸小学校竣工 (45名同校に転校)</p>  <p>全校生徒朝礼風景</p>
<p>第4代 佐久間 房吉</p> 	<p>1922年 (大正11年)</p>	<p>4月 物置1棟新設 6月 校舎増築 (4教室)</p>  <p>新年度集合写真 男子</p>  <p>新年度集合写真 女子</p>



校長	年代	できごと
<p data-bbox="113 338 258 416">第5代 渋谷 祝造</p> 	<p data-bbox="412 338 571 416">1923年 (大正12年)</p>	<p data-bbox="643 338 1244 416">4月 校名を横須賀市立山崎尋常小学校と改称 (児童数613名・12学級)</p> <p data-bbox="643 465 871 499">8月 安浦町誕生</p> <p data-bbox="643 548 1341 707">9月 関東大震災 平屋建4教室倒壊、他破損 山崎青年団により、バラック校舎(鉄板平屋建) 1棟急造(大正13年6月に完成)</p>  <p data-bbox="859 1128 1156 1162">バラック校舎と青年団</p>  <p data-bbox="833 1592 1182 1626">大正13年卒業時の先生方</p>  <p data-bbox="833 2051 1182 2085">大正13年卒業記念 男子</p>



校 長	年 代	で き ご と
<p>第6代 佐久間 房吉</p> 	<p>1924年 (大正13年) 1925年 (大正14年)</p> <p>1926年 (大正15年)</p>	<p>2部授業 (1~4年まで8学級)</p> <p>6月 校舎増築 (平屋建4教室)</p> <p>2月 校舎増築 (2階建6教室)</p> <p>6月 校地300坪拡張</p> <p>7月 関東少年野球大会で優勝 全国大会出場</p>  <p>勝利を喜ぶ少年たち</p>  <p>記念写真</p> <p>数々の優勝旗</p>  <p>11月 校舎増改築 (講堂2階建7教室)</p> <p>2月 山崎町誕生</p>





校 長	年代	できごと
<p>第7代 常葉 一</p> 	<p>1927年 (昭和2年)</p>	<p>半島少年野球大会・陸上大会優勝</p>  <p>少年野球優勝記念写真</p>
<p>第8代 鈴木 信義</p> 	<p>1928年 (昭和3年)</p> <p>1929年 (昭和4年)</p> <p>1930年 (昭和5年)</p>	<p>10月 天皇・皇后両陛下御影奉戴</p>  <p>昭和初期の入学式 女子</p> <p>半島少年野球大会・陸上大会優勝</p> <p>4月 湘南電鉄（浦賀一黄金町）開通 半島少年野球大会優勝</p> 



校長	年代	できごと
<p>第9代 金木 彦四郎</p> 	<p>1931年 (昭和6年)</p> <p>1932年 (昭和7年)</p>	<p>6月 校舎増改築 (木造2階建1棟) 御真影奉安殿新設</p> <p>9月 満州事変起こる</p> <p>1月 上海事変起こる</p>  <p>昭和8年卒業式の様子</p>
<p>第10代 小池 文一</p> 	<p>1934年 (昭和9年)</p> <p>1935年 (昭和10年)</p>	<p>6月 校舎増築 (木造2階建4教室・雨天体操場兼講堂及び渡廊下)</p> <p>2月 山崎町を春日町と改称</p>  <p>昭和10年卒業写真 男子</p>  <p>昭和10年卒業写真 女子</p>

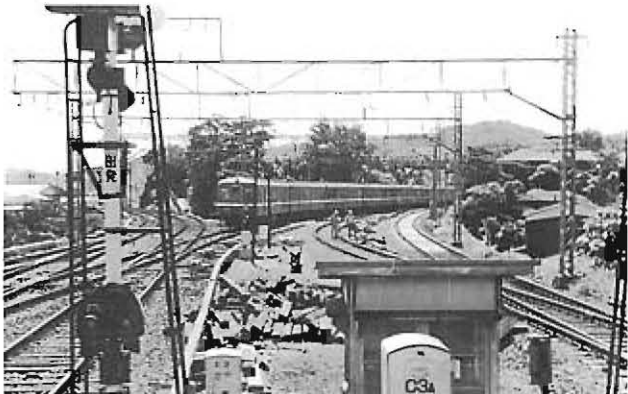




校長	年代	できごと
<p>第11代 島村 虎雄</p> 	<p>1935年 (昭和10年)</p>	<p>7月 高橋文子さん健康優良児童県代表で受賞</p>
		<p>11月 金堀トンネル開通</p>
	<p>1937年 (昭和12年)</p>	<p>4月 横須賀市立山崎青年 学校併置</p>
		<p>2部授業(2年4学級)</p>
	<p>1938年 (昭和13年)</p>	<p>2部授業(2年4学級)</p>
		<p>2部授業(1・2年8学級)</p>
	<p>1939年 (昭和14年)</p>	<p>7月 岩堀悦子さん健康優良児童県代表で受賞 村田継男さん健康優良児童県大会で特選</p>
	<p>1940年 (昭和15年)</p>	<p>2部授業(1～3年14学級)</p>
	<p>1941年 (昭和16年)</p>	<p>8月 紀元2600年記念事業実施</p>
		<p>2部授業(1～4年18学級)</p>
		<p>1月 創立30周年記念事業実施 (児童数1565名・29学級)</p>
		<p>4月 校名を横須賀市立 山崎国民学校と改称</p>
	<p>12月 第二次世界大戦始まる</p>	
	<p>開通した金堀トンネル</p> 	



受賞した高橋さん

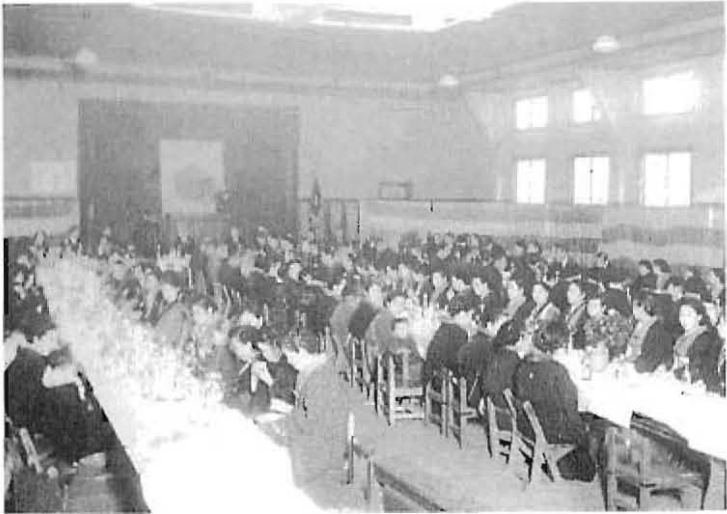


校長	年代	できごと
<p>第12代 石綿 秀夫</p> 	<p>1942年 (昭和17年)</p> <p>1943年 (昭和18年)</p>	<p>2部授業（1～4年18学級）</p> <p>6月 足洗場2ヶ所増設</p> <p>12月 京急久里浜線開通</p> <p>3月 横須賀市立山崎青年学校廃止 2部授業（1～3年13学級）</p>  <p>開通した京急久里浜線</p>
<p>第13代 永塚 桂太郎</p> 	<p>1944年 (昭和19年)</p>	<p>2部授業（1～3年13学級）</p> <p>4月 国鉄横須賀一久里浜間開通</p> <p>8月 学童集団疎開開始（愛甲郡小鮎村・玉川村）</p>  <p>昭和20年3月 疎開先の中屋寮にて卒業生一同</p>





校長	年代	できごと
<p>第13代 永塚 桂太郎</p>	<p>1945年 (昭和20年)</p> <p>1946年 (昭和21年)</p> <p>1947年 (昭和22年)</p>	<div data-bbox="668 367 1356 775" data-label="Image"></div> <p data-bbox="716 786 1302 824">昭和20年3月 職員と卒業生一同(残留者)</p> <p data-bbox="648 871 1044 909">8月 ポツダム宣言受諾 終戦</p> <p data-bbox="622 954 1013 992">10月 学童集団疎開解除復帰</p> <p data-bbox="648 1037 871 1075">2月 御真影奉還</p> <p data-bbox="648 1120 956 1158">8月 御真影奉安殿撤去</p> <p data-bbox="622 1202 899 1240">12月 雑炊給食実施</p> <p data-bbox="648 1285 1187 1323">4月 校名を横須賀市立山崎小学校と改称</p>
<p>第14代 山崎 好次郎</p> <div data-bbox="127 1554 368 1850" data-label="Image"></div>	<p>1947年 (昭和22年)</p>	<p data-bbox="622 1451 1094 1489">12月 給食炊事場建設(7.25坪)</p> <div data-bbox="699 1574 1313 2011" data-label="Image"></div> <p data-bbox="930 2033 1079 2072">給食炊事場</p>



校長	年代	できごと
第14代 山崎 好次郎	1948年 (昭和23年)	7月 勅語返還 山崎小学校PTA発足
	1949年 (昭和24年)	6月 公郷小学校開校により学区一部変更 88名転校する PTAバザー実施
	1950年 (昭和25年)	2部授業(1・2年8学級) 6月 春日町を三春町と改称
	1951年 (昭和26年)	2月 完全給食開始 2部授業(1～3年各級交代) 6月 正門前校地拡張(257坪)
	1952年 (昭和27年)	12月 給食炊事場修理 2月 通学区一部変更 2部授業(1～3年各級交代)
		
		昭和27年 謝恩会風景
		10月 創立40周年記念式典実施 (児童数1378名・28学級) 校歌制定
	1953年 (昭和28年)	3月 放送設備完成








校 長	年代	できごと
<p>第15代 海老原 敏夫</p> 	<p>1953年 (昭和28年)</p>	<p>2部授業(1~3年各級交代)</p> <p>公郷トンネル竣工</p>  <p>公郷トンネル開通時の様子</p>
	<p>1954年 (昭和29年)</p>	<p>2部授業(1・2年各級交代)</p>  <p>昭和29年卒業写真(上段左端が小泉純一郎元首相)</p> <p>5月 校舎増改築第1期工事 (木造2階建4教室)</p>
	<p>1955年 (昭和30年)</p>	<p>2部授業(1・2年各級交代)</p> <p>4月 バッチ制定</p> <p>校舎増改築第2期工事 (木造2階建6教室・トイレ・渡廊下)</p>



校 長	年 代	できごと
第16代 角井 米 	1956年 (昭和31年)	2部授業（1・2年各級交代）  社会見学（観音崎）
	1957年 (昭和32年)	2月 校舎増改築第3期工事（木造2階建6教室・渡廊下）  門標と校舎
	1960年 (昭和35年)	11月 通学区域一部変更
	1961年 (昭和36年)	5月 田圃・花壇設置  昭和37年卒業記念



校長	年代	できごと
第17代 宇佐美 融 	1962年 (昭和37年)	12月 ブロック花壇設置
	1963年 (昭和38年)	6月 鼓笛隊編成
	1964年 (昭和39年)	1月 通学区域一部変更
		3月 国旗掲揚塔完成
		7月 西側花壇設置
		9月 小鳥飼育舎設置
1965年 (昭和40年)	9月 講堂・4教室焼失 父親学級初めて実施	 校庭にて
1966年 (昭和41年)	5月 体育館兼講堂新築	 昭和39年運動会鼓笛隊
	10月 遊戯施設「山崎富士」完成	 国旗掲揚塔
		 裏庭で遊ぶ子どもたち



校長	年代	できごと
<p>第18代 根本 利三</p> 	<p>1967年 (昭和42年)</p>	<p>9月 鉄筋校舎第1期工事開始 両親学級始まる</p>  <p>両親学級の様子</p>
	<p>1968年 (昭和43年)</p>	<p>3月 鉄筋校舎第1期工事（6教室・3トイレ・渡廊下） 根岸町に市営プールができ、水泳教室が始まる</p>  <p>水泳教室の様子</p>
	<p>1969年 (昭和44年)</p>	<p>6月 砂場設置 クラブ・委員会活動開始（5・6年生）</p>
	<p>1971年 (昭和46年)</p>	<p>4月 正門前歩道橋完成 10月 市内小学校陸上競技大会優勝</p>
	<p>1972年 (昭和47年)</p>	<p>3月 鉄筋校舎第2期工事 (校長室・職員室・保健室・図書室・給食室・4教室) 5月 創立60周年記念式典実施 (記念造園・記念誌発行)</p>
	<p>1973年 (昭和48年)</p>	<p>12月 環境美化優良校として 表彰される</p>
	<p>1974年 (昭和49年)</p>	<p>4月 訪問指導学級設置</p> 


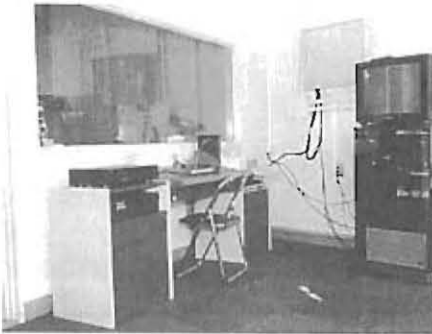

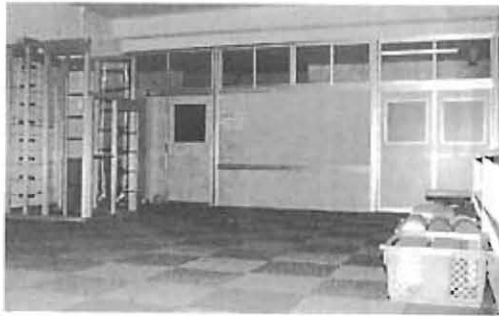


校長	年代	できごと
<p>第19代 最上 満</p> 	<p>1974年 (昭和49年) 1975年 (昭和50年)</p>	<p>9月 就任</p> <p>3月 鉄筋校舎第3期工事 (4教室・玄関・校長室・職員室・事務室・会議室・放送室整備・管理員室)</p>  <p>入学式の様子</p>
<p>第20代 服部 俊雄</p> 	<p>1976年 (昭和51年) 1977年 (昭和52年)</p> <p>1978年 (昭和53年)</p> <p>1979年 (昭和54年)</p> <p>1980年 (昭和55年)</p>	<p>10月 PTA文部大臣賞受賞</p> <p>2月 交通安全優良学校として県教育委員会より表彰される</p>  <p>交通安全優良学校表彰楯</p> <p>3月 1学級増のため図書室を間仕切り プレハブ校舎増築(2教室)</p> <p>5月 プレハブ校舎増築 (4教室・トイレ・倉庫・通路)</p> <p>10月 大津中学校を借りて運動会を行う</p> <p>3月 鉄筋校舎第4期工事(18教室・3特別教室)</p> <p>5月 第4期工事落成式</p> <p>1月 体育館床・屋根塗装 防球ネット設置・スプリンクラー増設</p> <p>3月 校門改修</p>





校長	年代	できごと
<p>第21代 鈴木 宏治</p> 	<p>1980年 (昭和55年)</p> <p>1981年 (昭和56年)</p> <p>1982年 (昭和57年)</p> <p>1983年 (昭和58年)</p>	<p>9月 就任</p> <p>1月 2棟1階トイレ改修</p> <p>3月 図書室床張替</p> <p>9月 カラーテレビ設置</p>  <p>理科室授業風景</p> <p>10月 渡廊下ビニール塀張替・体育館手すり補強</p> <p>8月 給食室改修(回転釜設置)・外残菜倉庫新設</p> <p>10月 運動場・裏庭整備</p> <p>12月 山崎富士改修・朝礼台新設</p>
<p>第22代 林 忠夫</p> 	<p>1984年 (昭和59年)</p>	<p>8月 普通教室を家庭科室に改造</p>  <p>家庭科室での様子</p>




校長	年代	できごと
第22代 林 忠夫	1985年 (昭和60年) 1986年 (昭和61年)	4月 給食物資外保管庫新設・機械警備校になる 8月 1棟屋上改修 3月 1棟外壁塗装・体育館渡廊下改修 京浜急行測地境工事
第23代 大津 典 	1986年 (昭和61年) 1987年 (昭和62年) 1988年 (昭和63年)	7月 1棟職員トイレ改修 1月 体育館照明増設 7月 1棟2・3階トイレ改修 1棟1階廊下及び図書室塗装・石灰庫新設 3月 市防災無線放送及びチャイム設置 特別支援教室（ぎんなん学級）設置  <p style="text-align: center;">放送室</p>  <p style="text-align: center;">ぎんなん教室</p> 12月 ブレイルーム新設・展示室新設・体育館床改修 正門防球ネット新設・2棟1階廊下照明増設  <p style="text-align: center;">ブレイルーム</p>





校長	年代	できごと
<p>第24代 一ツ谷 昌平</p> 	<p>1989年 (平成元年)</p>	<p>4月 生活科スタート</p>
		<p>7月 身障児用階段手すり及び昇降口スロープ設置</p>
		<p>8月 渡廊下改修・塗装</p>
		<p>10月 正門側フェンス工事・1棟廊下床張替</p>
	<p>1990年 (平成2年)</p>	<p>9月 2棟体育館側雨漏り箇所補修</p>
		<p>10月 市健康優良校学校保健会会長賞受賞 市健康優良校市長賞受賞</p>
		<p>11月 県健康優良学校賞受賞</p>
	<p>1991年 (平成3年)</p>	<p>5月 身障児用階段手すり及び 昇降口スロープ増設</p>
		<p>平成2年県健康優良学校賞楯</p> 
		<p>職員室・校長室・事務室・放送室改修 教室用テレビ・FF式ストーブ・体育館用グランドピ アノ・警報機器換装</p>
	<p>健康推進学校市教育委員会賞受賞 よい歯の学校市長賞受賞</p>	
	<p>10月 創立80周年記念大運動会実施 創立記念「山崎みんなのうた」ができる 放送機器換装・屋外用大時計換装</p>	
	<p>11月 県健康推進学校賞・県よい歯の学校賞受賞</p>	
	<p>12月 市クリーンアップ工事</p>	
<p>1992年 (平成4年)</p>	<p>1月 創立80周年記念式典実施（記念副読本発行）</p>	







校 長	年代	できごと
<p>第25代 茶谷 次雄</p> 	<p>1992年 (平成4年)</p> <p>1993年 (平成5年)</p>	<p>9月 月1回学校5日制導入(第2土曜日)</p> <p>10月 正門扉改修</p> <p>1月 給食室回転窯・バーナー換装 体育館改修工事 (屋根改修工事・照明器具・スピーカー換装・床改修)</p> <p>2月 校舎電灯増設 (普通教室・特別教室・2棟2～4階廊下)</p> <p>5月 公郷トンネル工事に伴い、水道直結・屋外貯水槽撤去</p> <p>8月 裏門・鶏舎移設</p> <p>12月 プレイルーム床改修</p> <p>1月 第1校舎非常階段修理・塗装</p> <p>9月 消化栓用配水管修理 ふれあいトンネル工事(第1期)</p>
	<p>1994年 (平成6年)</p>	
	<p>1995年 (平成7年)</p>	<p>ふれあいトンネル工事風景</p> <p>2月 ドアヒンジ交換 (第2校舎トイレ外部通用ドア・正面ドア) 山崎富士改修(表面モルタル・絵)</p> <p>3月 身障児用トイレ手すり設置(第2校舎2・3階) 焼却炉用水道設置 保健室給湯機設置 給食室給湯配管修理</p>
		<p>山崎富士をカラフルに 塗装(卒業生制作)</p> 



校長	年代	できごと
第26代 多田 味喜夫 	1995年 (平成7年)	4月 月2回学校5日制導入(第2・4土曜日) 保健室床一部・体育館玄関天井修理 11月 ふれあいトンネル工事(第2期)
	1996年 (平成8年)	3月 第1校舎南昇降口天井修理 京浜急行との境界確定につき体育館脇万代塀修理・移動 4月 小鳥小屋新設 8月 給食室全面改修・ボイラー交換 体育倉庫新設 裏庭整備(花壇・池・スロープ・階段・窓下花壇)
	1997年 (平成9年)	3月 体育館窓ガラス飛散防止フィルム工事 7月 家庭科室ガス栓改修 8月 体育館暗幕緞帳取り換え 9月 児童用コンピュータ10台設置 12月 第2校舎トイレ電灯増設換気扇新設
	1998年 (平成10年)	4月 総合科スタート 8月 児童用コンピュータ10台・教師用1台設置 11月 視聴覚室・準備室新設
	1999年 (平成11年)	 <p style="text-align: center;">視聴覚室でパソコンを使用する児童</p> 3月 消化用ポンプ配管工事(第1校舎用外部ポンプ室撤去)



校 長	年代	できごと
<p>第27代 北村 勲</p> 	<p>1999年 (平成11年)</p>	<p>山崎富士手すり・滑り台撤去 正門門扉改修 防球ネット下の鎖設置</p> <p>7月 堀ノ内駅前駐輪場完成</p>
	<p>2000年 (平成12年)</p>	<p>体育館周り雨樋修理 職員室周りアスファルト補修 中国寧山路小学校来校 学童クラブ「あすなろ」を プレイルームに新設</p>  <p>寧山路小学校 来校記念の旗</p>
	<p>2002年 (平成14年)</p>	<p>2月 第2校舎トイレ改修工事 4月 完全学校週5日制度導入 総合学習スタート</p>
	<p>2003年 (平成15年)</p>	<p>10月 竜巻の被害により第1校舎屋上フェンス倒される 3月 学校裏門沿い防球ネット完成</p> 
	<p>2004年 (平成16年)</p>	<p>3月 国道16号線沿い通学路内歩道橋（青い鳥幼稚園前） 架け替え工事完了</p> 



校長	年代	できごと
<p>第28代 佐野 享子</p> 	<p>2004年 (平成16年)</p> <p>2005年 (平成17年)</p> <p>2006年 (平成18年)</p>	<p>10月 耐震工事完了</p>  <p>工事完了後の第1校舎</p> <p>4月 図書館ボランティア 発足</p> <p>8月 「山崎富士」老朽化 のため取り壊す</p> <p>1月 正門前道路のガード レール設置</p>  <p>図書館ボランティア (ブックママ) による本の貸出し</p>
<p>第29代 中村 勉</p> 	<p>2006年 (平成18年)</p> <p>2007年 (平成19年)</p> <p>2008年 (平成20年)</p>	<p>9月 全教室空調設備 (エアコン) 配備</p> <p>3月 砂場改修</p> <p>4月 防犯カメラ設置</p> <p>3月 校舎外壁工事</p> <p>4月 AED設置 体育館前渡り廊下工事</p> <p>6月 土曜参観実施</p>  <p>設置されたAED</p>  <p>土曜参観 親子で手遊び</p> <p>8月 体育館入口工事</p> <p>11月 防災倉庫設置工事</p> <p>12月 裏門・屋上漏水工事</p>



校長	年代	できごと
<p>第29代 中村 勉</p>	<p>2009年 (平成21年)</p>	<p>3月 正門前に創立100周年記念横断幕設置</p> 
<p>第30代 柏木 雅一</p> 	<p>2009年 (平成21年)</p> <p>2010年 (平成22年)</p> <p>2011年 (平成23年)</p> <p>2012年 (平成24年)</p>	<p>8月 体育館照明工事 10月 裏庭遊具施設新設</p>  <p>裏庭のジャングルジムとうんてい</p> <p>3月 校庭改修工事終了</p> <p>9月 創立100周年記念航空写真撮影</p> <p>3月 東日本大震災起こる</p> <p>4月 冷水機2台設置</p>  <p>昇降口に設置された冷水機</p> <p>11月 創立100周年記念式典・祝賀会実施 (記念誌・副読本発行)</p> <p>1月14日 創立100周年記念日</p>



歴代校長先生の当時の思い出

「山崎小学校の思い出」

第26代校長 多田 味喜夫
(平成7～10年度)

創立100周年、おめでとうございます。

私は、教頭2年、校長4年在職しました。その間さまざまな事がありました。

まず思い出すことは、山崎ふれあいトンネル問題です。

山崎小から公郷方面に歩いて抜けるには、狭いトンネルの中にある歩道を通ることになります。トンネルは、狭い、暗い、危険、排気ガスが充満しているなどの問題を抱えていました。そこで、地域住民が切望していた人道トンネルを造ることになりました。

造るにあたって、資材、機材置き場として校庭を使用させて欲しいと言ってきました。

期間は1年半ほど、面積も校庭の4分の1ほどでした。学校としては、教育活動に問題が起こることを強く指摘しました。対話集会で、保護者は狭い校庭をさらに狭くするのかと反対一色に染まりました。

最終的には、校庭の使用範囲を大幅に狭めた上で、以前から要望していた体育倉庫を設置することで落ち着きました。

完成後は、トンネル内に市民ギャラリーができ、市民に愛される場所となりました。

得点の付かない運動会、共に学ぶ教育の推進、給食室の洗剤問題、児童の所在に関して「月夜の晩だけ・・」と脅されたこと、そして、黒光りし、歩くとギーと音を立てる木製の床、熱心に教育論議を繰り返した職員、山崎小での教育活動を懐かしく思い出します。

「益々の充実発展を願って」

第27代校長 北村 勲
(平成11～15年度)

「創立100周年」誠におめでとうございます。

私は、1999年4月～2004年3月までの5年間在任しました。当時、PTAや地域の活動は主体的で学校に協力的でした。私は、住み良い地域・居心地の良い家庭・行きたくなる楽しい学校を目指しました。学習指導要領では、特色のある学校づくり、ゆとりの中で「生きる力」の育成が求められ、新たに「総合的な学習の時間」が3年生から導入された時期でした。

また、学校を開く一環として、学童保育「あすなろ」が空き教室を改装して学校に移転して来ました。放課後、生き生きと活動している学童の姿が思い浮かびます。

校庭にはシンボルの大銀杏が、毎年たわわに銀杏の実を付けました。その実を集めて学年毎に作業をして、PTA主催の行事で子どもたちが販売し、収益をユニセフに募金して感謝されたものです。しかし、アレルギーになる児童がおりましたのでやむなく中止になりました。

2001年4月、内閣総理大臣に卒業生である小泉純一郎氏が指名されました。町を挙げての提灯行列が行われたことや報道関係が様々に学校・地域を紹介していたことが思い出されます。

また、森崎地区で発生した竜巻が屋上のフェンスをなぎ倒したこともありました。

退職後、振り返って思うことは、教育には「不易と流行」があることです。今後とも、「不易と流行」をしっかりと見極めて、よりよい伝統を培っていきましょう。



「ご縁に感謝」

第28代校長 佐野 享子
(平成16～17年度)

山崎小学校には、昭和57～58年度に音楽専科として、平成16～17年度には校長として、二度にわたりお世話になりました。

児童数の多かった音楽専科時代は、5年・6年合わせて10クラスを担当しました。授業のことと共に、当時の担任の先生方にご無理を言って、「サウンド・オブ・ミュージック」の映像を給食の時間に何回かにわたって放送したり、「ぽこあぽこ」と名付けた音楽室だよりを、毎週発行したりしていたことを懐かしく思い出します。

P T Aコーラスの皆様と、年に一度の「市民合唱のつどい」に参加することも楽しみでした。今でも続いているこのイベントで、当時の懐かしい顔を拝見できることを、嬉しく思っています。

校長として着任して感じたことは、山崎小学校がいかに保護者・地域の皆様に支えられているか、ということでした。それは、若い頃にはわからないことでしたが、創立以来ずっと変わらずに続いていることなのだと思います。子どもたちがより良い環境で学習できるように、また、安心して通学したり地域で過ごしたりすることができるようにと、様々な面でご協力・ご支援いただいたことを、今でも本当に有り難く思っています。お陰様で、子どもたちの笑顔に囲まれて、2年間の校長時代を過ごすことができました。

山崎小学校とのご縁に感謝すると共に、山崎小学校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

「山崎小学校とP T A」

第29代校長 中村 勉
(平成18～20年度)

山崎小学校を思い出すと、忘れる事の出来ないのが、P T Aの運営の皆さんとのことです。小学校がはじめての私でしたが、曲がりなりにも3年間の仕事を成し得ることができたのは、P T A運営委員の励ましと協力があったおかげと感謝しております。

運営委員会との思い出は、何といっても、「ふれあいまつり」に取り組んだ3年間です。赴任して最初の大仕事の割に、活気に乏しく出し物も子ども達の夢を輝かせるものが少ないように思われました。確かに、いろいろな流れがあってP T Aの思いが反映されていないこともあり、学校としてどのような支援をすれば良いのかを話し合いました。「ふれあいまつり」自体は長い経過をもつもので、地域と学校がふれあう大切な行事であるという事が、話し合いの中で、改めて認識されました。この話し合いを経て、次年度からは運営の方々の献身的な努力で、大きく成長することができたと思います。

学校を大切に思い、教師を信頼し、地域の方々との交流を深めて行こうとする山崎小学校P T Aの姿勢を学ぶことが出来たことが、大津小学校においても力となったことは言うまでもありません。これからも、皆さんの力を結集し、山崎小学校の桜のような誰からも親しまれるP T A活動をお願いします。



地域の方々よりごあいさつ

「創立100周年をお祝いして」



三春町地区
社会福祉協議会
会長 外岡 幸吉

山崎小学校創立100周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私は、山崎小学校の卒業生ではありませんが、平成14年に山崎小学校の学校評議員を委嘱され、今年で10年目になります。その間多くのことに関係することになりました。

山崎小学校の1年間の主な行事は、可愛い1年生の「入学式」、お世話になりました先生の「離任式」、元気一杯競技の「運動会」、多才な表現の場の「図工展」、楽しいこと一杯の「ふれあいまつり」、10歳の思い出の「2分の1成人式」、我が子を送り出すような厳粛な感情になる「卒業式」、その他、学校評議員会、授業参観、校外パトロール等が随時開催されております。これらの多くの諸行事にそれぞれ思い出を残しながら、10年間続けております。

更に忘れられない思い出として、平成17年「クリーンよこすか市民の会」の副会長当時、山崎小学校の5年生が「山崎クリーン大作戦」と称し、全町内のゴミを収集し、それを分析した報告書を作り、秋の「中央会議」でその内容を発表して頂いたことがあります。以来、毎年「中央会議」の場で小・中学校が順次、活動発表しております。

以上のように山崎小学校には多くの思い出や種々の関係が続いており、卒業生ではありませんが母校のような愛着を感じております。

山崎小学校は、学校教育目標や具体的な教育結果等について、保護者及び児童から評価アンケートを実施し、その結果を教育活動に活かされておられますことに深く感謝しております。

山崎小学校が学校目標「すこやかに 育む友情 のびゆく学び」のもと、益々発展されますよう祈念し、お祝いの言葉と致します。

「山崎小学校100周年にあたり」



三春連合町内会
会長 庄内 重和

山崎小学校創立100周年おめでとうございます。山崎小学校の学校評議員を委嘱されてから、今年で3年目になりますが、私が山崎小学校に関わることになったのは交通指導員として堀ノ内駅前を通学児童の交通安全指導を行ったのが始まりです。

昭和42年当時、18代校長の根本先生より、全校児童に交通安全指導をお願いしたいとの依頼がありました。PTA校外指導委員会と共に通学路点検や、児童に対しての通学歩行マナーの指導、また、堀ノ内駅より学校までの通学路は、時間帯通行禁止にもかかわらず通行する車が多い為、校外指導委員さんや交番のお巡りさんと共に、街頭指導等を始めました。以来、毎年入学式にて、新1年生に交通安全のお話しを続けさせていただいております。

当山崎学区は、国道16号を控えていて市



内でも常にワーストランクの交通事故多発地区になっていて、学校関係又は、各町内の方々の関心も深く、常に児童の安全を温かく見守っております。各町内会では、安全安心の街を目指し、こども見守り隊を結成しました。登下校を見守ることによって、児童の事故は非常に少なくなっております。

三春町は、歴史のある町です。おとしよりの方のお話しによりますと、校庭より聞こえてくる子ども達の大きく元気な声は、私達をととても元気にしてくれる、との事です。いつまでも安全安心、元気な学校であるよう祈念致します。

「母校100年をお祝いして」



堀の内連合町内会
会長 石渡 誠二

山崎小学校創立100周年本当におめでとうございます。今回100周年記念事業の一環として記念誌に、堀の内連合町内会長として記事を書く事になりましたが、その立場を離れ、山崎小学校の卒業生として思い出を書くことにしました。

ふりかえてみますと、昭和17年4月、1年生として姉に連れられ、山崎小学校の校門をくぐりました。昭和20年4月には神奈川県愛甲郡玉川村に疎開し、8月に終戦を迎え小学校に戻り、昭和23年3月に卒業しました。やんちゃないたずら坊主で、6年生の時には、担任の松本キン先生に叱られ廊下にバケツを持って立たされた事が今では良い思

い出になっています。私の兄弟6人も山崎小学校を卒業し、子ども2人も卒業しています。山崎小学校100年の歴史の重みを感じ、感慨深い所があります。

その後小学校とは疎遠になっていましたが、三春町4丁目町内会長となり、今年度で10年目を迎えますが、山崎学区健民運動会や町内対抗ゲートボール大会で小学校の校庭を使用させて頂き、地域との連携にご協力下さり大変感謝しております。

私が学んでいた時の木造校舎とは違い、現在では立派な校舎もでき運動場も整備され、子ども達にとってすばらしい環境になっています。

昨年と今年、1年生と三春町地域の40名程の方々と一緒に給食を頂きました。入学当時とは見違えるくらいに元気で澆刺とした1年生の成長ぶりに驚き、私自身若がえった気持ちになりました。今後も山崎小学校見守り隊をして行きたいと考えています。

最後に山崎小学校のますますの発展を願い、つたない文章でしたが後期高齢者手記とさせていただきます。



校舎の移りかわり

～山崎小学校創立以前～

明治5年、学制がしかれ、寺小屋だった公郷町浄蓮寺本堂（現三春町1丁目）が公郷学舎として開校し、明治10年、浄蓮寺の東隣に公郷学校が建設されました。

明治26年、公郷学校は廃止され豊島小学校の分教場となり、明治30年には春日神社内にも山崎分教場ができました。山崎分教場には1年生が通学しました。



2階建瓦ぶき洋風建築の公郷学校

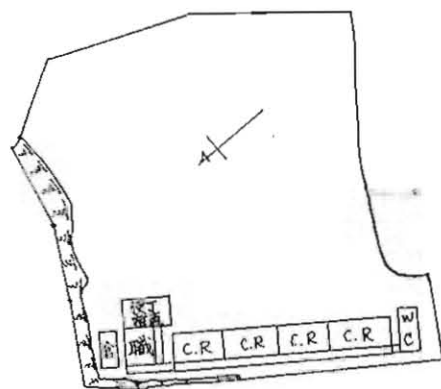


公郷学校跡地の立札

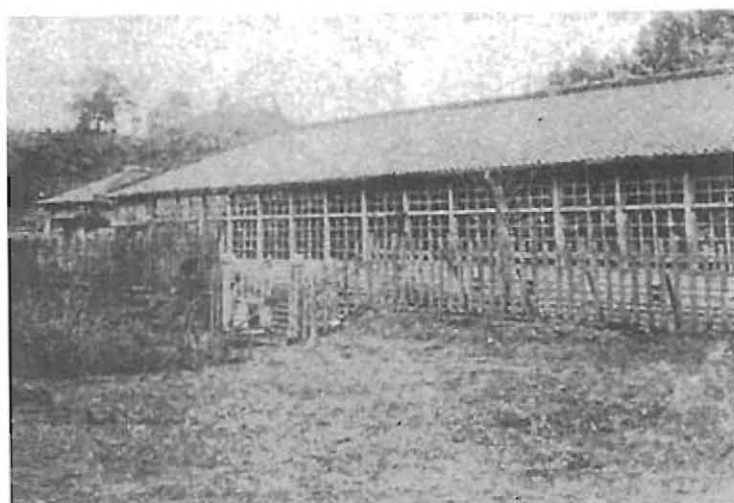
～山崎小学校創立以降～

明治45年1月14日、現在の土地に横須賀市の第9番目の小学校として、尋常山崎小学校が開校しました。（1～4年生約240名）

同年4月からは5学年5学級303名が通学するようになりました。6年生は卒業間近のため、それまでどおり、尋常豊島小学校へ通いました。



創立当時の学校の配置図



創立当時の学校の様子



大正9年頃の学校の様子

大正2年3月、児童の増加に伴い、2階建校舎が増築されました。

大正12年9月の関東大震災により平屋建校舎が倒壊し、山崎青年団によってバラック校舎(鉄板平屋建)1棟が大正13年6月に完成しました。

大正14年2月、児童の増加により、2階建校舎が改築されました。

同年11月には震災後急造した鉄板平屋建校舎の位置を変更し、屋内体操場兼講堂に改められました。



大正14年以降の学校正門



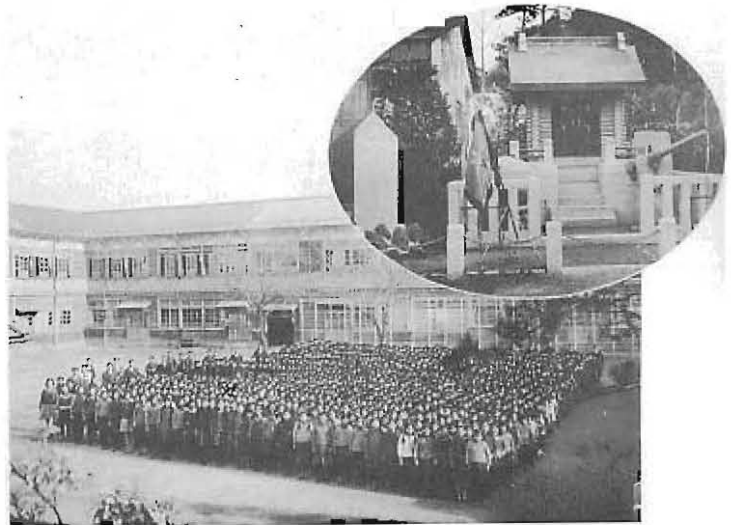
大正14年 卒業式の様子



児童増加に伴い、昭和6年6月に木造2階建校舎1棟が増築され、同時に木造正倉造りの御真影奉安殿が新築されました。御真影奉安殿は、終戦後の昭和21年8月に撤去されました。

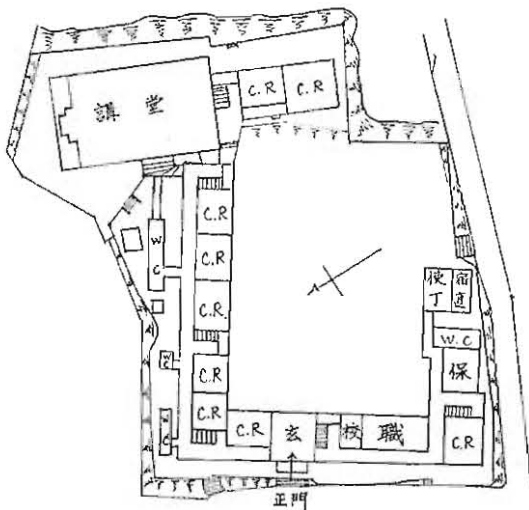


昭和6年頃の学校の配置図



右上 御真影奉安殿
下 集合写真

昭和9年校地が拡張し、同年6月、木造2階建4教室1棟、雨天体操場兼講堂が新しく完成しました。

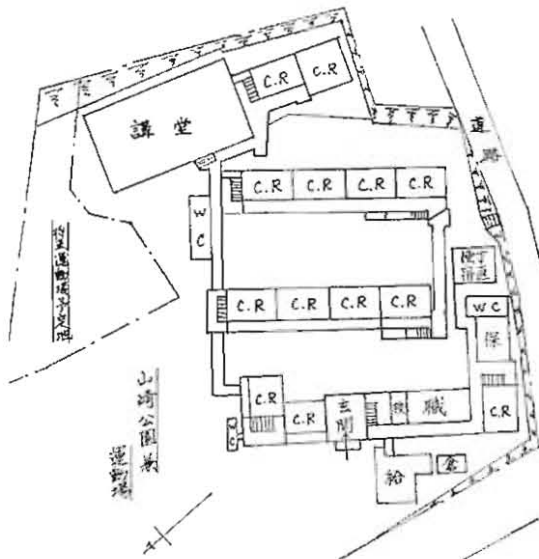


左上 昭和9年頃の学校の配置図
右上 戦前の校舎
右下 雨天体操場兼講堂での卒業式



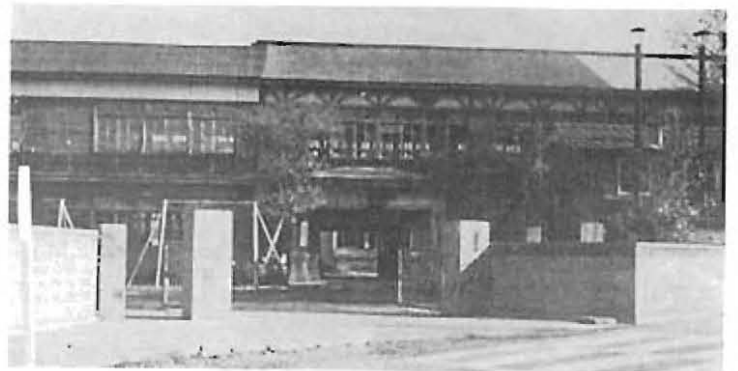


昭和12年 卒業式の様子



増改築後の学校の配置図 (昭和32年頃)

戦後の児童数の増加、および関東大震災の際に傾斜修理された校舎の老朽化に伴い、昭和29年から32年にかけて校舎の増改築、解体が行われました。



昭和37年 正門前の様子



昭和37年 校舎全景と猿島



昭和40年9月23日、午後2時40分頃、講堂ステージ裏物置付近より出火しました。



講堂の火災



消火活動の様子

この日は秋分の日で休校でしたが運動場で遊んでいた児童が火事を早期発見し、講堂1棟、木造2階建校舎1棟は焼失しましたが、全棟焼失は免れました。

昭和41年5月、火事で焼失した講堂に変わり、体育館兼講堂が新築されました。当時のPTAが寄付をつのり、内部の設備を整え、10月には「山崎富士」（遊具施設）が完成しました。



新体育館兼講堂



「山崎富士」で遊ぶ児童たち



昭和42年 木造校舎の様子

昭和42年9月、鉄筋校舎第1期工事が始まりました。



基礎杭打ちの様子



昭和42年12月 工事風景



昭和43年3月 完成した3階建鉄筋校舎と広くなった校庭



解体中の木造2階建校舎

昭和47年3月、鉄筋校舎第2期工事により鉄筋校舎が増築されました。

これにより、正門前の木造校舎1棟が解体されました。



鉄筋校舎第3期工事により、昭和50年に現在の第1校舎が完成しました。



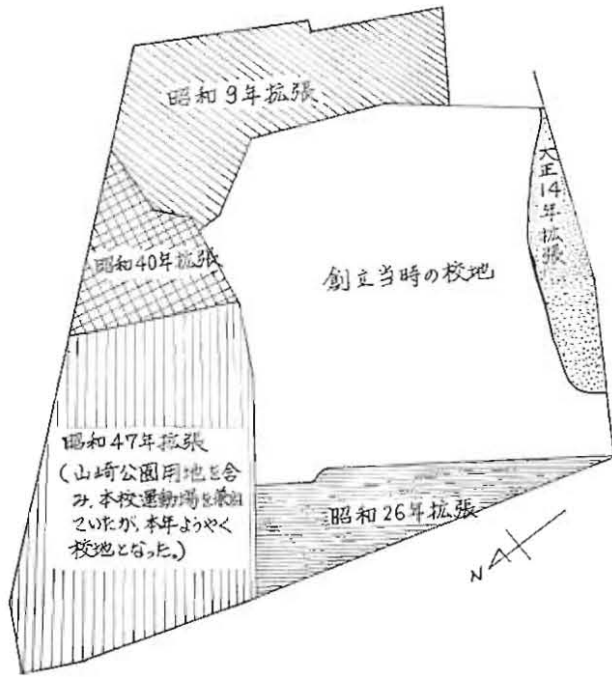
完成した鉄筋校舎と木造校舎（昭和50年頃）

鉄筋校舎第4期工事により、木造校舎2棟を解体、昭和54年に現在の第2校舎が完成しました。

工事中はプレハブ校舎にて授業が行われ、運動会は大津中学校のグラウンドを借りて開催されました。



昭和55年 学校全景



創立当初から昭和47年にかけての
山崎小学校の土地拡張の変遷の図



平成4年 学校の様子



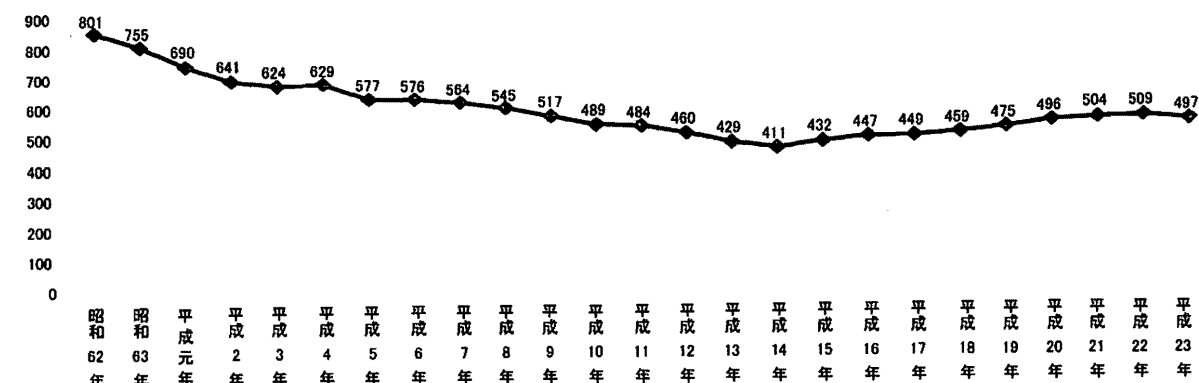
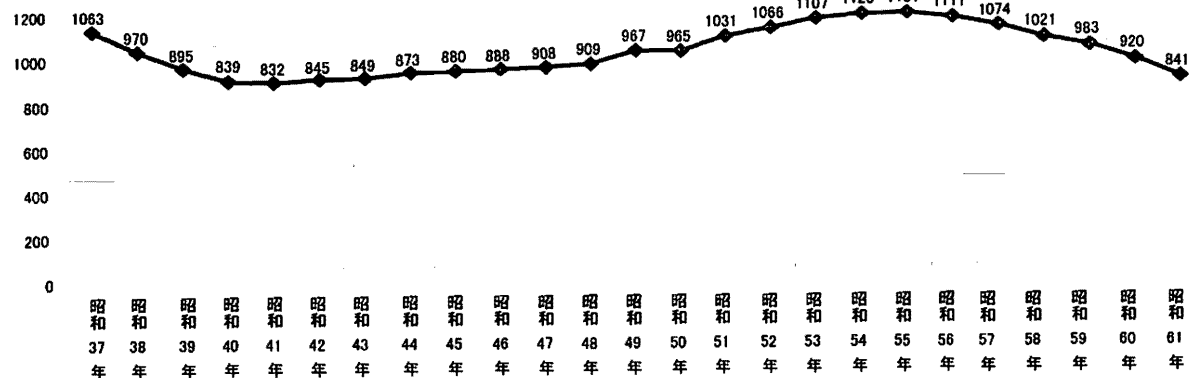
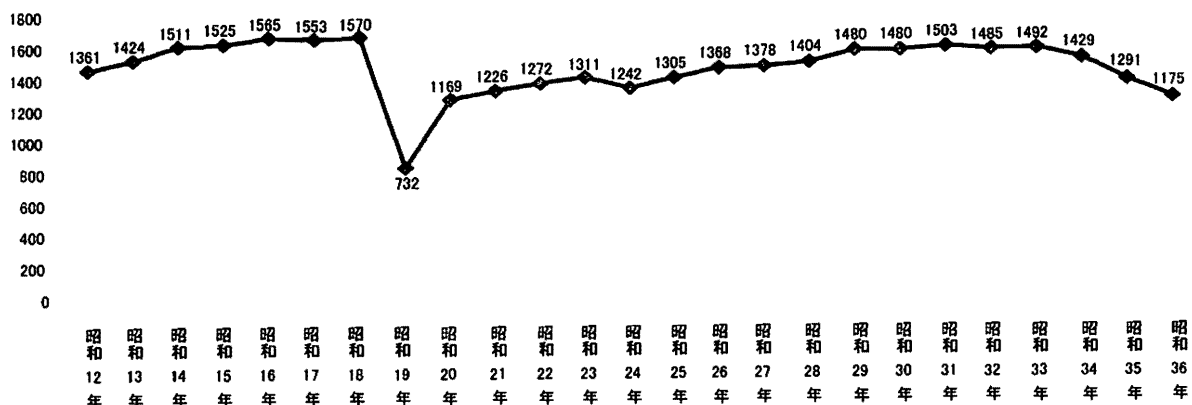
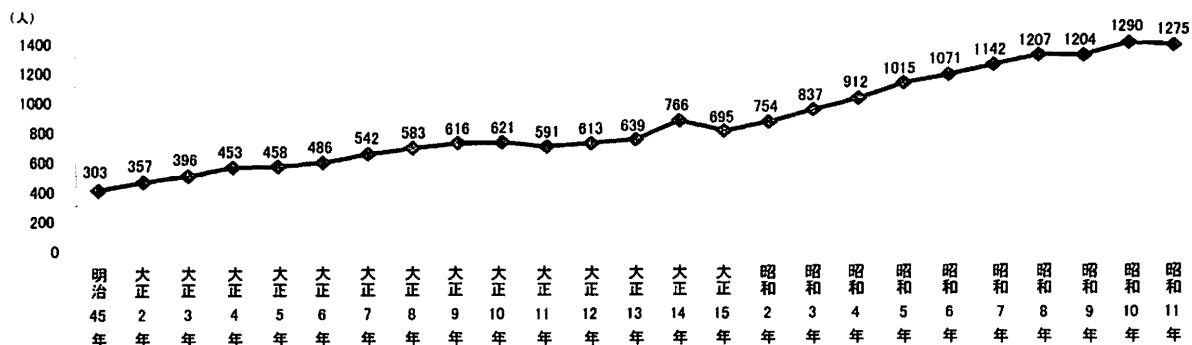
平成23年 山崎小学校と平成町



平成23年
正門から見た様子



児童数の移りかわり





地域別児童数の移りかわり

地 域	昭和47年	平成5年	平成10年	平成15年	平成21年	平成23年
平 成 町				32	93	89
三春町1丁目	167	67	44	46	42	43
三春町2丁目	86	47	35	39	40	42
三春町3丁目	104	52	30	29	45	44
三春町4丁目	158	79	49	61	49	43
三春町5丁目	175	182	183	108	101	129
三春町6丁目	111	100	99	71	69	57
富士見町1丁目	26	8	8	4	4	1
安浦町3丁目	14	5	8	3	4	2
学 区 外	67	37	33	39	57	47
計	908	577	489	432	504	497

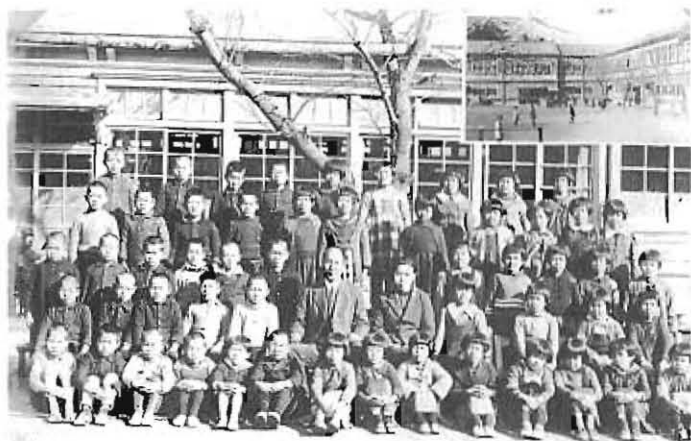
(児童数・・・60周年記念誌、80周年副読本、学校要覧参照)





記念行事

～創立を祝う様々な催しが行われました～



山崎小學校創立三十周年記念
山崎小學校同窓會

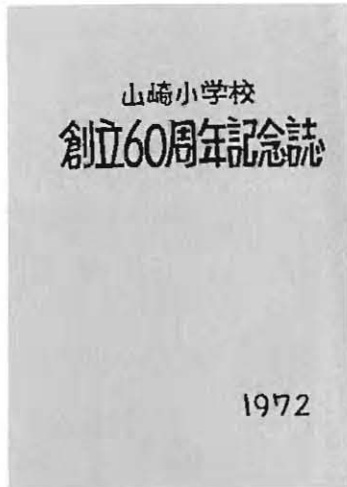
昭和16年
創立30周年記念写真

昭和27年
創立40周年記念式典の様子
この時に今の校歌が誕生



昭和47年
創立60周年記念式典の様子





昭和47年 創立60周年
記念誌



創立60周年記念に寄贈された築山



平成4年 創立80周年記念
副読本やまざき



創立80周年記念講演をしてくださった
和泉雅子氏を囲んで（前列中央）

—平成3年10月18日— 山崎PTA会報 — 第163号 —

作曲 *Allegro moderato*

「山崎みんなのうた」

平成3年、80周年記念のテーマソングと
シンボルマークが児童によって作られました。
テーマソングは、一部歌詞を変更し、「夢工場
の歌」として現在も歌い継がれています。

作詞 永塚千絵 (永塚千絵)

選ばれるとは思わなかったの
うれしくて。いつもめまり語は
作らないんだけど、指題に出たの
で作りました。山崎小学校のまわ
りにあるツバキ・鉄棒・いちよ
うんてい・のぼり棒・山崎富士が
全部入るよつに思いつけました。

作曲 角野百合子 (角野百合子)

エレクトーンを弾っているので
作曲はしてあげられませんが、こ
の曲はできあがるまで一週間くら
いかかりました。作曲のときに
自分の名前があるのを見てうれ
しかったです。

作詞 村松望美 (村松望美)

選ばれてとてもうれ
しいです。おまじないの
をくっつけるように思
いつけました。

シンボルマーク

**山崎小学校
創立80周年記念**

広報紙第163号「山崎PTA会報」より



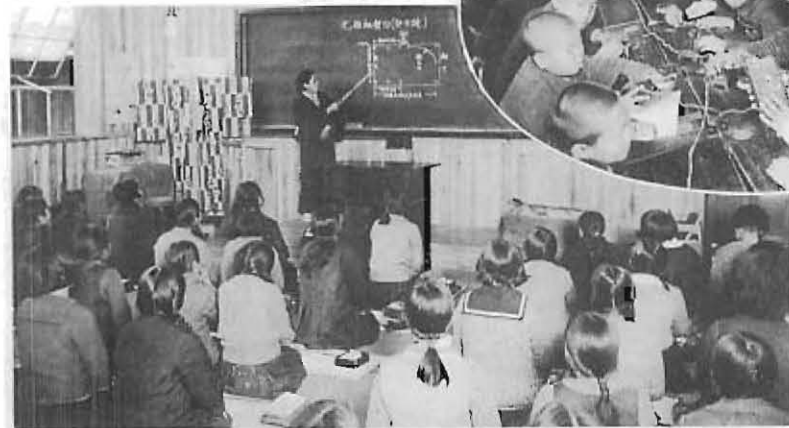
授業風景



大正初期



大正14年 大津海岸にて海水浴



昭和8年



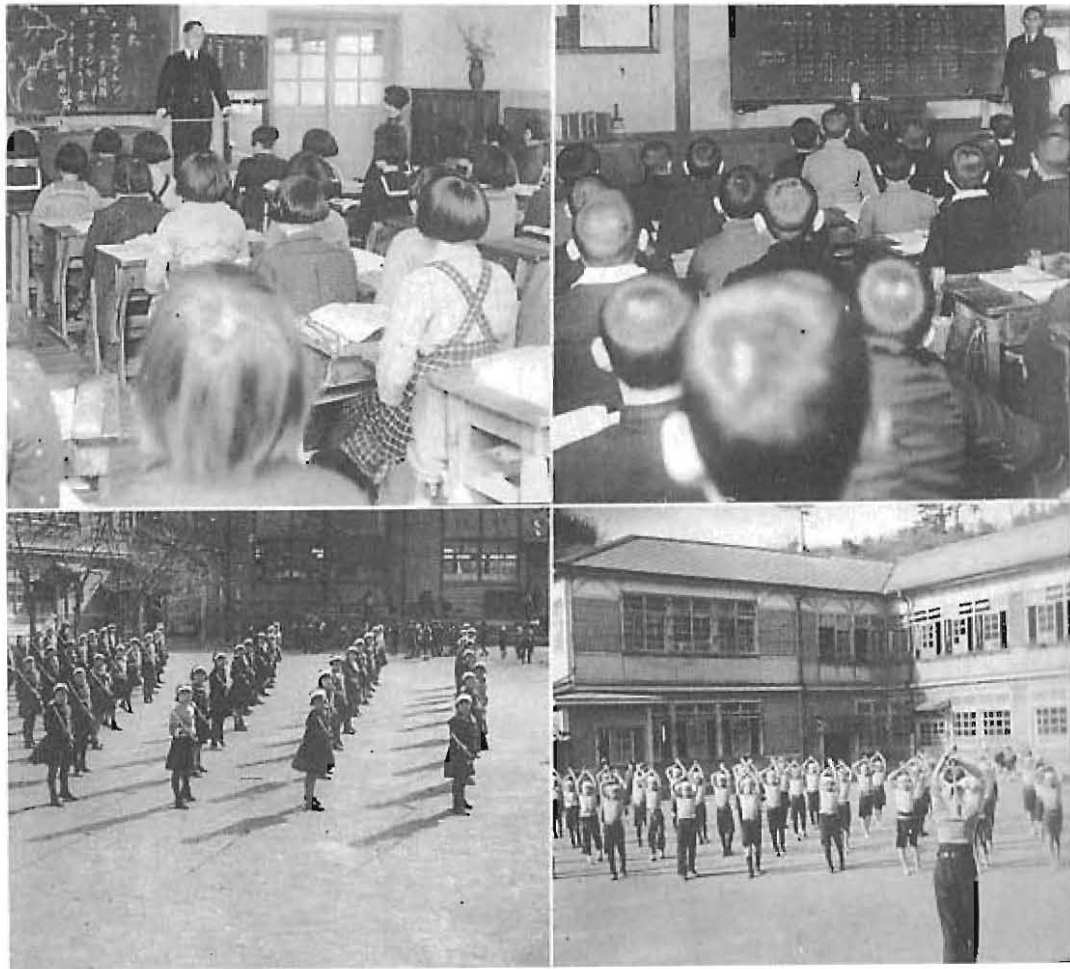
昭和11年



昭和10年代の水泳納会
(大津砂坂海岸にて)

昭和14年4月29日
第2回神奈川県武装行事大会
参加記念写真 (山崎青年学校生)





昭和16年



昭和35年 皇居前 5年生



昭和36年 音楽の授業



昭和38年 横浜山下公園 4年生



昭和42年 横須賀市立小学校音楽会
(文化会館)



昭和42年頃 掃除当番



昭和51年 学芸会



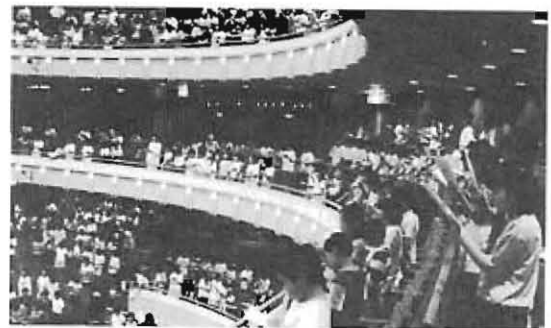
昭和60年 大津中学校にて水泳教室



平成2年 歯科指導



平成6年 夢工場



平成15年 芸術鑑賞会(よこすか芸術劇場)



平成22年 あんしんかん見学



平成23年 リコーダー学習出前授業



運動会

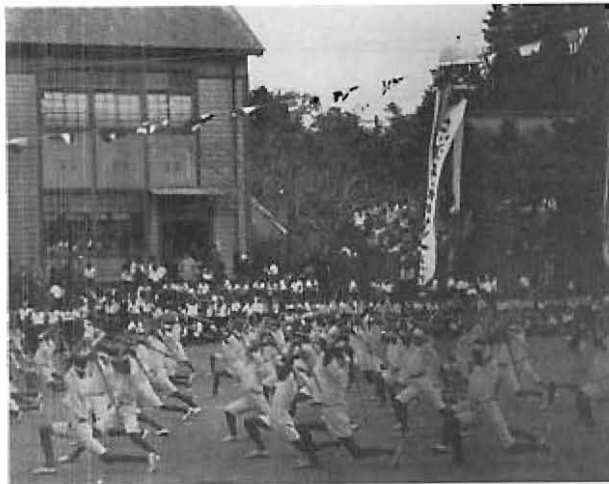
～みんなの力を出し合いがんばりました～



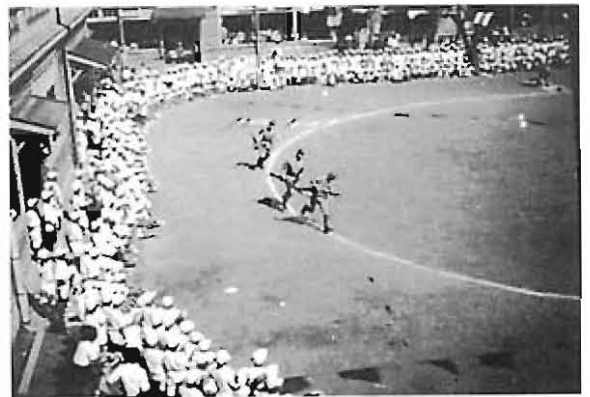
大正14年頃



昭和初期



昭和14年頃



昭和12年頃 青年学校生の競技



昭和36年 ピラミッドの崩れる瞬間



昭和37年 仮装競争



昭和45年 応援団



昭和45年 鼓笛隊



昭和55年 棒倒し



平成2年 創立80周年大運動会 騎馬戦



平成14年 6年生競技
「人生いろいろ」



平成20年 組体操



平成23年 選抜リレー



クラブ活動

～沢山のクラブの中から一部をご紹介します～



昭和45年度 珠算クラブ



昭和45年度 社会クラブ



昭和46年度 造形クラブ



昭和46年度 飼育栽培クラブ



昭和49年度 気象天文クラブ



昭和50年度 絵画クラブ



昭和55年度 科学クラブ



昭和56年度 野外生活クラブ



昭和57年度 つりクラブ



昭和57年度 将棋クラブ



昭和60年度 ソフトボールクラブ



平成元年度 バドミントンクラブ



平成3年度 演劇クラブ



平成4年度 鉄道クラブ



平成7年度 ミステリークラブ



平成11年度 一輪車クラブ



平成18年度 サッカークラブ



平成22年度 パソコンクラブ



修学旅行

～長い歴史の中で、修学旅行の行き先も変わっていきました～



昭和12年 高尾山



昭和14年 箱根熱海方面



昭和15年 箱根大涌谷



昭和18年 鎌倉 長谷大仏前

戦争がしれつになるに従って、行き先も近くなり、昭和19年以降は学童疎開により、修学旅行は中止されていました。

終戦後、修学旅行が再開しましたが、日帰りの箱根旅行でした。



昭和26年 箱根



昭和41年からは、日光へ修学旅行に行くようになりました。



昭和42年 見送りする保護者



出発前の横須賀駅



昭和44年 日光東照宮の前



いろは坂



昭和50年 日光への臨時列車



昭和57年 華嚴の滝にて



平成6年 戦場ヶ原でハイキング



平成22年 見ざる・言わざる・聞かざる



給食

～思い出深い給食についての今昔物語～

●山崎小学校の給食のあゆみ

昭和19年 味噌汁給食開始

昭和21年 市内国民学校で雑炊給食を開始

昭和22年 脱脂粉乳給食開始
給食炊事場建設

昭和26年 パン、おかず、ミルクの完全給食開始

昭和35年 脱脂粉乳からビン牛乳に変わる

昭和42年 ソフトめんメニューが加わる

昭和57年 ごはん給食が始まる

平成 8年 自校献立を行うようになる

平成12年 磁器食器（カップ）の使用が始まる

（平成2年10月16日発行 広報紙158号
「山崎」より一部抜粋・60周年記念誌参照）



昭和20年代後半 調理風景



昭和40年代 調理風景



昭和51年 給食風景



配膳する児童



～給食のはじまり がんばったお母さんたち～

(平成2年10月16日発行 広報紙第158号「山崎」より抜粋)

「雑炊の中にお米が入っていれば上等な食事」という時代がありました。終戦前後の食糧難は、育ち盛りの子どもたちの上にも大きくのしかかっていたのです。

そんな時代に、学童たちの昼食のために労を惜しまず奉仕した「母の会」がありました。

当時「母の会」を経験した方々から、その時のようすを伺いました。

昭和20年11月頃から給食作りが始まりました。給食といっても、玉ねぎ、大根や米軍配給のシャケ缶を入れたみそ汁でした。

お母さんたちは交替で学校へ行き、野菜刻みなどを手伝いました。当番は山崎、堀之内、神金の三地区から順番に五名ずつ出ました。みんな着物にモンペで、その上にかっぽう着をかけて働きました。

調理室などなく、小使い室兼宿直室で、茶わかし盃を使って作り、出来上がるとバケツに入れて運び、各自持参の器にひしゃくで配りました。

設備の充実、調理員の常任により、26、27年頃に勤労奉仕は終わりました。

(お話いただいた方：三春町一丁目 斉藤さと子さん、
石渡シズさん、石渡いくさん)

～当時の給食のようすをお聞かせください～

雑炊がよく出たように思います。当時の雑炊は米など少なく野菜汁でした。また真っ黒いコッペパンが給食に出た時がありました。

昭和23年卒業 石渡 敏義さん

いもづるの入った雑炊、乾パン入りのおつゆなどがバケツに入ってひしゃくで配られたのを憶えています。器は家から持参したおわんを使いましたが、その後アルマイトの食器が使われました。

昭和23年卒業 石渡 美沙子さん

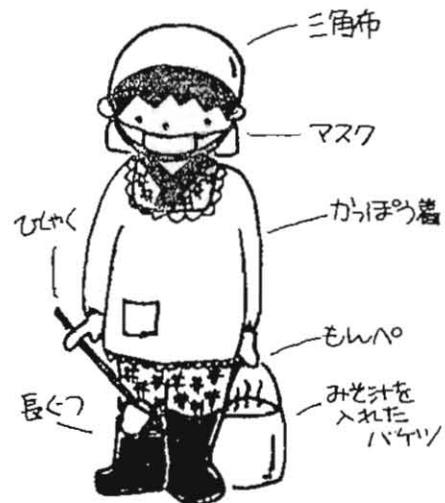
脱脂粉乳を飲んだ事は、よく憶えています。また、家からはふかしたさつまいもを持っていきました。卒業近くに、ご飯とたくわんがでたような気がします…。

昭和25年卒業 原 繁さん

昭和23年から52年まで山崎小で、給食調理員をしていました。23年頃は、配給の脱脂粉乳を水でといて、味付けに塩を入れると甘くなりました。じゃがいもの乾燥したもの(ポテトチップスのようなもの)を油で揚げ、砂糖をまぶして配りました。自分でも食べてみましたが、とてもおいしかったのを憶えています。

初代給食調理員 星野 八重子さん

当時の服装





～現在の山崎小学校の給食の一部をご紹介します～

- 4月の一番最初の給食には、かわいらしい「うさぎパン」が出ます。



うさぎパン
揚げじゃがいものそぼろ煮
塩ナムル
牛乳

- 自校献立・・・その学校独自の、旬の野菜や地産地消の食材を取り入れた献立で、
今では年4回実施されています。



さくら飯のしらす丼
三浦大根と鶏肉の煮物
すまし汁
いちご
発酵乳



ジャージャー麺
杏仁豆腐 牛乳



栗ごはん せんべい汁
地場のみかん 牛乳



●市制記念のお祝い献立



赤飯
いりどり
しょうがあえ
ミニたいやき
牛乳

●子どもたちに人気の献立



揚げパン
いためビーフン
おひたし
牛乳

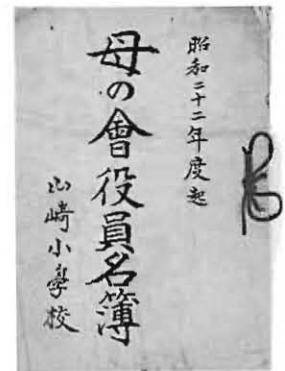


かたやきそば
煮豆
牛乳



* P T Aのあゆみ*

- ・大正 9年 11月19日教育奨励会（P T Aの前身）発足
- ・昭和22年 母の会発足（学校給食のため昭和26年まで）
- ・昭和23年 P T A発足
- ・昭和24年 第1回P T Aバザー開催
- ・昭和27年 創立40周年記念事業遂行する為バザー開催、校地の拡張・校舎増改築への協力、グランドピアノ購入、音楽会開催、P T Aコーラス発足
- ・昭和36年 P T A広報紙「山崎」創刊
P T A図書発足
- ・昭和40年 成人委員会にて、P T Aコーラス再出発
火災のため講堂焼失、廃品回収などで資金集めをする
- ・昭和41年 資金集めにより、体育館内の設備（グランドピアノ、放送施設）の整備、山崎富士建造
- ・昭和43年 校外補導委員会にて、P T Aバレーボール発足
- ・昭和47年 創立60周年記念造園・記念誌発行
- ・昭和48年 神奈川県教育委員会より表彰（美化運動）
- ・昭和49年 日本P T A全国協議会より表彰
神奈川県教育委員会より表彰
- ・昭和51年 文部大臣賞受賞
- ・平成 4年 創立80周年記念式典
- ・平成 5年 3委員会（学級校外・成人厚生・広報）体制となる
- ・平成 8年 P T Aふれあい学級、ふれあい厚生、ふれあい広報委員会と名称変更
ふれあいまつりはじまる（餅つき大会、バザーなどが一緒になる）
- ・平成14年 P T A協議会より表彰
- ・平成17年 保護者用ネームプレート作成・配布
- ・平成19年 校外委員会発足、現在の4委員会となる
- ・平成20年 山崎小P T A連絡協議会が横須賀市交通安全運動推進協議会より表彰
- ・平成23年 創立100周年記念冷水機2台寄贈・記念誌発行・式典・祝賀会
創立100周年記念ふれあいまつり主催



歴代P T A会長



初代
田中 左右宜



2代
石渡 松吉



3代
岩堀 秀次郎



4代
村瀬 春一



5代
木原 新一



* 写真で振り返る P T A 活動 *
【昭和 4 0 年代】



昭和 4 3 年 バレーボール部



昭和 4 4 年 親と子の集い (成人委員会)



昭和 4 4 年 フォークダンス部



昭和 4 4 年 地引網

歴代 P T A 会長



6、8代
高橋 孝治



7代
安東 重季



9代
木田 清



10代
長島 道夫



11代
永島 嘉次郎



【昭和40年代】



昭和44年 バザー釣りぼり



昭和44年 バザー広告



昭和46年 コーラス部

歴代P.T.A.会長



12代
鈴木 清



13代
田村 貞次



14代
鈴木 康弘



15代
望月 忠



16代
白戸 篤



【昭和50年代】



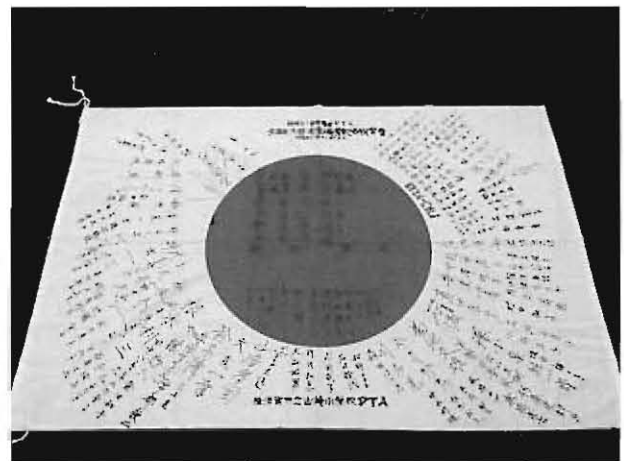
昭和50年12月 餅つき大会（体育館）



昭和50年 市協議会会長賞受賞式



昭和51年 文部大臣賞表彰状



昭和51年 文部大臣賞記念の寄せ書き

歴代PTA会長



17代
安東 崇夫



18代
村野 悟



19代
伊藤 廣勝



20代
松浦 眞太郎



21代
鈴木 好平



* P T A 広報紙の表紙の移りかわり *



昭和41年11月PTA会報



昭和43年6月PTA会報



昭和44年69号



昭和61年139号



昭和62年140号



平成18年225号A4版

歴代PTA会長



22代
森本 敏昭



23代
藤澤 浩子



24代
中川 邦子



25代
飯島 幸夫



26代
橋本 美紀



ふれあいまつり



平成18年11月 大津中吹奏楽部演奏会



平成19年11月 雅楽演奏会

～平成22年11月 各コーナーの様子～



スライム作り



ボードゲーム



デコペンシル



ゲームコーナー



食べ物販売



本のリサイクル

歴代PTA会長



27代
渡邊 雅人



28代
石井 義治



29代
渡邊 弘美



30代
古屋 久美子



31代
内田 吉彦



* P T A の旗 *



- ・昭和44年、地引網の目印として紅白のPTAの旗ができる。
- ・昭和61年より現在の旗（緑地に白抜き）を使用。

* 現在の P T A 活動 *

【運営委員会】

- ・各委員会と学校との連絡・調整・企画
- ・総会の企画・運営
- ・ふれあいまつり企画・運営
- ・講座等
（平成22年度は横須賀市立横須賀総合高等学校の見学会を実施）
- ・5部会合同研修会
- ・大津中学校区小中連絡協議会
- ・市P協指導者研修会



横須賀市立横須賀総合高等学校見学の様子

【学級委員会】

- ・学級、学年活動の企画・実施
- ・茶話会（保護者同士の交流会）
- ・講習会
（平成22年度は学校栄養士の川村先生による料理講習会を実施）
- ・ふれあいまつり企画・運営



料理講習会



【校外委員会】

- ・防犯パトロール
- ・登下校見守り
- ・通学路プレートの点検
- ・子ども110番
- ・1、2年生防犯教室（平成22年度）
- ・講演会（平成23年度）
- ・「パトロール通信」発行
- ・「きけんかしょMAP」作成
- ・ふれあいまつり企画・運営



防犯パトロールの様子

【厚生委員会】

- ・ベルマーク運動の推進
- ・給食試食会開催
- ・PTA図書管理
- ・学校保健委員会の参観
- ・ふれあいまつり企画・運営
- ・ベルマークの総合計400万点を達成
2010年12月ベルマーク財団より表彰
- ・ベルマークで創立100周年の記念品
「冷水機」2台購入
- ・ベルマーク10万点を被災地へ寄付



ベルマーク収集の様子

【広報委員会】

- ・広報紙「やまざき」年4回発行
- ・ふれあいまつり企画・運営



「やまざき」制作風景



入学・進級おめでとう



2011年度児童数 行将予定

学年	男	女	合計
1年	112	118	230
2年	115	120	235
3年	118	123	241
4年	120	125	245
5年	122	127	249
6年	125	130	255
合計	712	753	1465

行将予定
 5月定例会（1）運動会
 5月定例会（2）運動会
 5月定例会（3）運動会
 5月16日（水）学年大会
 5月27日（土）学年大会
 5月28日（日）学年大会
 5月29日（月）学年大会
 5月30日（火）学年大会
 5月31日（水）学年大会

平成23年5月発行
「やまざき」第244号



山崎小学校の 思い出

～懐かしい小学生のころ～



「山崎小学校時代の思い出」

昭和29年卒業 小泉 純一郎

はっきりとした記憶はありませんが父が政治家であったせいか自分はできるだけ目立たないように心がけていたような気がします。

比較的おとなしい生徒であったと思います。



「山崎小学校の思い出」

昭和5年卒業 石渡 友勝

1年生の時、読み方（国語）で最初に習ったのは『ハナ、ハト、マメ、マス、ミノ、カサ、カラカサ、カラスガイマス、スズメガイマス、ヒノシモアリマス』です。先日物置を整理していたらヒノシが出て来ました。ヒノシと云うのは、今のアイロンです。あとは『桃太郎』の話とか、5年生になってから『浦島太郎』と『月光の曲』の話がありました。『月光』の曲を文章で表現していました。

2年生の時、松本先生が授業の前に必ずピノチヨ（ピノキオ）の本を読んでくれました。



5年生6年生は太刀川先生でした。或るとき、先生より背の高い野球のピッチャーだった大橋君に向かって先生が「大男総身に知恵が回りかね」と云ったら、すかさず大橋君が「小男に回った知恵も知れたもの」とやり返した時は面白かったです。

山崎小学校は野球がとても強くて甲子園にも行きました。優勝旗が沢山校長室に飾ってありました。セーフ、アウトの他にナイスキャーとかドンマイとかゲッツーなどの英語を使っていました。試合は山崎小学校から山を駆けて鶴久保小学校まで行きました。先生は土屋先生と村田先生で放課後熱心に指導していました。「天は晴れたり気は澄みぬ…」という応援歌もありました。

当時の服装は、着物と下駄がほとんどで、私は5年生から服と靴になりました。給食はなく、アルマイトの弁当箱でお弁当を持って行きました。時々お金をもらってジャムつきの食パンを買いました。運動会には、のり巻きのお弁当を作って貰いました。わたしの祖父が教育奨励会の役員だったのでいつも役員席にいました。3等まで賞が貰えました。最後の、先生の「ダルマ送り」が面白かったです。

音楽は『荒城の月』『ローレライ』『仰げば尊し』『蛍の光』が好きでした。

同級生は少なくなりましたが、山内(石渡)元式君は今も元気だそうです。元市会議員の石渡吉男君も同級生でしたが亡くなりました。

夏休みは宿題を3日で仕上げ、あとは毎日堀ノ内の海へ泳ぎに行きました。

遊びはコマ回し、凧揚げ、縄跳び、などでした。



「在校当時の思い出」

昭和5年卒業 山内 元式 (旧姓 石渡)

昭和47年創立60周年記念誌が発刊されています。その後、今日までの世の移り変わりは言語に絶する変革があります。民族・宗教又気象等地球規模での地殻変動が続発しています。このような時に子どもの時代を思い出す機会を得たことは大変嬉しい限りです。

大正13年4月山崎尋常小学校に入学、木造二階建て校舎は前年の大地震で傾き屋根瓦の取り替え等修復工事中でした。校長は佐久間房吉先生、教頭は原勇吉先生でした。

1年生の担任の訓導中山トヨ先生は紺の袴に白足袋姿でとても素敵でした。1年生の遠足は、森崎練兵場で神金町内の子ども達の遊び場です。そこで原先生が歌を教えてくださいました。「アナうれし よろこばし この勝ちいくさ いざいわえ いざうたえ この勝ちいくさ」

4年生の時、担任の井上潔先生に俳句を教えられ作りました。「初雪の犬の足あと梅の花」と、家の裏に通じる庭で見たままを作って提出しました。先生には親に作ってもらっただろうと疑われ子ども心にとっても悔しかったです。



昭和4年頃、京急電鉄の堀の内のガードを建設していました。運動会の「マラソン」で工事現場を走った時、工事の人達から声援をうけ僕は2等で「メダル」をもらいました。

6年生の時、当時全国的に少年野球が盛んで野球部に入りました。鶴久保小・豊島小の強豪を破り横須賀代表として東京の全国大会に出場しました。早稲田大学のグラウンドで初戦で敗退しました。その時に「ドイツ国」の大飛行船「ツエッペリン号」が帝都の空に飛来し、びっくりして驚いたことを鮮明に覚えています。

私の家は神金で、登校に雨でも降れば「モチン坂」が大変でした。赤土の坂道故すべって泥だらけになりました。今は開発されて面影もない「モチン坂」の南側に地下水を貯める洞窟が2ヶ所あり、水道水として学校で使用していました。坂のおり口に道祖神が今でもあります。山の上にあった「お稲荷さん」は開発で転々としましたが、今は妙真寺の神金稲荷と同じ処に鎮座しています。

先にも述べた強かった野球部の「ナイン」の一部は主戦投手、大橋君（のち横浜Y校に進み甲子園に出場）。捕手、浜野君。サードは有名な関野のかっちゃん、僕は補欠でした。

校舎の2階から東京湾に浮かぶ猿島は一望でき、目を遮るものもありませんでした。学校の正門前の道路は海に向かって下り坂道で、今の「ガード」の処が電光形に屈折していました。

さて、思い出すままに前後の関係なくしたためました。拙文で申し訳ない次第です。往時を思い起こす機会を得ましたことが大変嬉しく、準備委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。



「思い出」

昭和16年卒業 今村 照美

新学期の頃、校庭のまわりに櫻が咲きほこり、まことに美しく感激いたします。思い出せば70年以前にも同じように、いやそれ以上に多くの櫻の木で校庭は囲まれていたような気がいたします。

朝8時には校舎の南はしに下がっている鐘が鳴りますと、一斉に生徒が外に走り出しまして校庭はいっぱいになります。千人以上の在校生でした。ラジオ体操、校長先生のお話の後に、一斉に教室へ入ります。教室では60人の生徒でこれまた満杯です。先生は大変だったと思います。当時の冬は、1・2年生の教室のみ、木枠の大きな火鉢が教壇の脇に置かれます。朝、小使いさん（今の用務員さん）が大きな十能に真っ赤におこした炭火を入れて配達していきます。それでも生徒の手はしもやけで真っ赤にふくれている、エンピツも持てません。先生がしもやけの薬を一人一人にやさしく塗ってくださった事等思い出して、目頭が熱くなる思いでございます。



「『食』—食べ物・食べるということ—」

昭和23年卒業 石原 雅晴

僕は軍国少年として入学し、集団疎開、そして敗戦後と、3つの時代を生きた。それを一字で…と考え、選んだのが「食」である。

とにかくお腹を空かせていた。食べたかった。疎開中は土手のスカンポの茎までかじった。すごいシブ柿も、熟した桑の実も体感した。敗戦後はさらにひどかった。母親は今の三浦市まで歩いて買出しに出掛け、着物と交換でさつま芋を背負って帰ってきた。その芋の葉っぱも茎も煮て食べていた。食料は配給制。米ではなく赤いザラメ糖が配られた。小麦のフスマ、豆カス…水でこね、手の平で握ってつくる水とん！玄米の闇米は一升ビンに入れ棒で突いて精米した。給食の乾パンやコッパン、水っぽい雑炊。茶色い塩水？がお醤油だった。進駐軍の携帯食に驚愕。チューインガムやチョコは早くから知ったと思う。

僕は食べ物を残せない。腐りかければ臭いで判る。食べさせてもらった親の恩に対し、ちゃんと介護も続け……そんな年代である。



「集団疎開の思い出」

昭和23年卒業 石井 春代 (旧姓 前原)

「耳が痛いから、お医者さんに連れて行ってください。」

小学校3年生のときの冬のある寒い日、私は集団疎開先の寮長先生である加藤惣八先生にそう訴えた。惣八先生は、忙しい中、私を自転車の荷台に乗せて、厚木にある耳鼻科の先生のところに連れて行ってくださった。

2週間ぐらい前に5年生の男子が中耳炎で横須賀の家に帰されたのを見て、耳が痛くなれば家に帰れると思込み、前の夜の入浴時、耳の中に水をたくさん入れてみた。耳痛はたいしたことはなかった。案の定、お医者さんは「何でも無いヨ」と言い、私はがっかりした。遠い日の思い出である。



小学校3年生で親の元を離れて1年2カ月の集団疎開、私達、神金のものは、愛甲郡小鮎村にある宝蔵寺にお世話になった。この疎開中に、お寺の本堂が丸焼けになり、疎開児童は村の家々にバラバラになってお世話になった。3年生は最下級生ということで、加藤先生といっしょに村長さんの家で次の疎開先が決まるまでお世話になった。毎日のように出てくるやけ焦げたたくわんのなんともいえない味を、つい昨日のここのように覚えている。

昭和31年、成人して母校の山崎小に就職し新米教師となった私は、疎開のときの、あの頃の加藤惣八先生や寮母さん達の心労やご苦労が、やっとわかるようになった。

戦後も昭和30年代の後半になり、あの火事で焼けた宝蔵寺が元の場所に再建され、落慶式が行われることになった。その時の校長から「疎開していたお寺なら、立派に再建されたそうだから、式にいっしょに参列してみるか」と声をかけられたが、何故かとても行く気持ちになれなかった。それ以後も、一度も現地を訪れていない。

集団疎開のことは、思い出したくないことなのに、私にとってはやはり小学校時代の、一番強烈に残っている確かな思い出であることを再認識した。

～『山崎小学校の思い出—我等の時代史—』 昭和23年卒業同窓会』より抜粋～
(平成10年11月発行)



「祝辞」

昭和32年卒業 牧島 功

やがて一世紀の歴史を刻む母校山崎小学校を誇りに思います。

“ふれあいを だいじに はぐくみ 100周年”のスローガンのもと、学校・父兄会・関係者のご努力で準備を着々とすすめられ、大変嬉しく存じます。

♪桜は庭に 木の実は丘に・・・♪ 校歌が時々心に浮かびます。校庭に全生徒が並び、声を揃え斉唱しました。壇上で指揮棒をふるのは、長塚先生でした。小柄で頭髪はうすく、眼鏡は鼻の上。確か“豆電池”と呼ばれていました。斉唱はいつも決まって中断します。長塚先生は指揮を止め、大声で「頭が動く」と叫びます。「直立不動で心を込めて校歌を唄いなさい。指揮棒を見て唄いなさい。」との注意だったのでしょう。そこには不思議な緊張と愛情が溢れていました。

この原風景こそ、教育の原点なのです。



「山崎小の思い出」

昭和33年卒業 丸山 明彦

昭和20年生まれ、代表的存在は吉永小百合さんの私たちは、圧倒的に人数が少なく、戦中生まれと戦後生まれがいる希少価値なのですが、既に「前期」高齢者となっています。

2年生のときには、まだ二部授業があって「遅番」でゆっくり出かけて行って窓から教室を覗くと、教室内は「早番」の自分のクラスが授業をしている。ショックで泣きながら帰った思い出も。

神奈川国体があって学校の外に並んで聖火リレーに旗を振った。横須賀市制50周年記念の歌「市制50年、記念のこの日」と歌わされたことが、何故か記憶の片隅に。

6年生で、風邪かと思って医者に行くと、法定伝染病「ショウコウ熱」で隔離入院。退院して登校すると、「ばい菌」扱いで誰ひとり近づいてこない。後で聞けば、保健所が来て全校消毒で大騒ぎだったそうでした。勇気のあるひとりの女子生徒が「もう治ったのだから大丈夫」と救いの手を。その恩人は今、築地の有名料亭の女将。



「『やまざき富士』奮闘記」

昭和43年卒業 佐久間 則夫

毎週月曜日の朝礼、校長先生が重大発表をされました。

「みなさん、校舎の裏庭に富士山をつくることになりました。これからみんなで校庭の小石を集めますから手伝って下さーい！」

当時は、小石がコンクリートの骨材になるなどとは知らなかったので、「校庭中集めても富士山の形になるまではとても無理！」と首をかしげながらお手伝いしたことを覚えています。そして完成した『やまざき富士』は滑り台やロック・クライミングを楽しめる最高の秘密基地になりました。現在は解体されて大変残念ですが、頂上から滑り落ちて膝をすりむいたことや、滑り台を逆さにのぼってくる仲間を蹴飛ばしたことなど楽しい思い出でいっぱいです。

桜は庭に・・・の校歌は100年変わらない山崎小学校の桜並木をたたえる卒業生の誇りです。在校生のお友達も、いつまでも郷土の風景を大切に、自然や他人を思いやる気持ちを持ち続けていただきたいと願っております。



「夢の山崎小学校」

昭和44年卒業 渡辺 真知子

山崎小学校創立100周年、おめでとうございます！

小学校まで5分足らずの私の家はスクールゾーンに面していて、昭和38（1963）年に入学する前から、朝の通学時に私は玄関脇の路肩に座り小学生達が登校するのを眺めていました。それは手を繋いで歩く兄弟の姿に兄と自分を重ね、入学するのをそれはそれは楽しみにしていました。ですが、入学すると同時に6つ違いの兄は卒業、切なくひとりの登校で始まりましたが、気が付けば同じ年の友達がドッサリ！毎日が面白くて友達も増え、行動は一気に山を越え隣の町まで広がりました。

思い出は、雪の日の課外授業、ストーブの側で乾かした靴下、兎の飼育当番、運動会の徒競走で2着になった景品の鉛筆、アカギレの床掃除、鉄棒から落ちて駆け込んだ保健室、日直で緊張しながら入った職員室、当時は校舎が山側にあったので京浜急行が校庭の向こうで走りぬけ、その後ろには海が見えていました。朝礼でラジオ体操を体育委員女子代表で前に出て務めさせて頂き、朝礼台から見た全校生徒は今でも目に見えるようです。



「鼓笛隊の思い出」

昭和48年卒業 鎌田 則子（旧姓 石渡）

私は、5・6年生の時に鼓笛隊の小太鼓を担当していました。友人に誘われ小太鼓のテストを受け、まぐれか合格することができました。とても嬉しかったのとびっくりしたことを覚えています。しかし、放課後練習がある日は友人たちと遊べなくなり、さみしかったりもしました。

「君が代」「校歌」はよく練習しました。当時は週始めに朝礼があり、国旗掲揚の時には「君が代」を演奏しました。6年生の時に創立60周年記念行事があり、体育館で演奏し、誇らしかったのも良い思い出です。

今でも当時使用していたスティックは持っています。鼓笛隊に入って楽しい思い出がたくさんありました。引っ込み思案な自分を変えてくれたのも、鼓笛隊のおかげと思っています。

私の父・私・私の子どもたち、三世代に渡り山崎小学校にお世話になりました。

創立100周年おめでとうございます。



「山崎小学校での日々」

昭和53年卒業 鈴木 初音（旧姓 小島）

毎日の通学で、裏門を入り、木造校舎に挟まれた中庭・閉じ込められて泣いた鳥小屋・ゴレンジャーごっこをした山崎富士・さかあがりの練習をした校庭の隅の鉄棒・苦手だった給食の揚げパン。どれも、断片的に切り取られた写真のように私の中にある光景です。

卒業をしてからも、美しい桜の頃などに山崎小学校の前を通ると、自然に校歌の出だしの部分をくちずさんでいました。

校庭の木々で季節を感じ、たくさんの感情をはぐくんでくれた日々は、長い時間を経過しても、いつも私の中にあり、今の表現活動の源だと、改めて確信しています。

担任の先生とまるで文通をしていたかのような日記帳が、実家に何冊も残っています。大きな愛情で私達と接してくださっていたあの頃の先生の年齢もそろそろ越えている今、感謝とともに100周年をお祝いしています。

あの頃、山崎小学校での日々は、どこまでも穏やかで、そして豊かでした。



「自分の原点」

昭和63年卒業 天達 武史

山崎小学校創立100周年おめでとうございます。歴史ある山崎小で過ごすことができ、うれしく思います。

小学校の記憶は今でも鮮明に残っています。

2年生の頃、どうしても読書感想文が書けなくて、授業が終わってから何度も先生にみてもらったことや、「これ忘れちゃダメよ！」と何度も念を押されたものを見事に忘れてしまい困っていたら、クラスメイトが余分に持って貸してくれたことなど、いろいろな人に助けられた記憶があります。また、夏休みの自由研究は楽しくて、がんばって取り組み、クラスの代表に選ばれたことがありました。しかし、人前で発表するとなるとガチガチに緊張してしまい、顔は真っ赤になり、頭の中は真っ白。全校生徒の前で何をしゃべったのか？ほとんど覚えていません。



卒業式の練習では、6年1組で出席番号が1番だったため、「卒業証書授与」のリハーサルをひとりだけ何度もやりました。名前を呼ばれて、台の上に上がって証書をもろう一連の行動。毎回とても緊張したことを覚えています。そんな私がまさかテレビに出る仕事をするとは、当時は思ってもいませんでした。いまだに上がり症はなおっていませんが…。

放課後や休み時間に友達と野球やサッカーをして遊んだこともいい思い出です。小学校生活の6年間は大変だったことや子どもなりに悩んだこともあったと思いますが、思い出すのは楽しかったことやいろいろな人に助けられたことばかりです。

卒業して23年が経ちます。今でもときどき学校の前を車で通ると校舎や校庭の雰囲気、イチヨウの木など当時と全然変わらない風景を懐かしく思います。

これからも山崎小学校の益々の発展を願い、また小学生のみなさんには、諦めず失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしていただければと思います。



「在校当時の思い出」

昭和63年卒業 小原 大介

僕の卒業当時の校長は天津典先生でした。同じ時期に通学した方の記憶には色濃く残っているかと思いますが、「オアシス」の先生です。これは「オ：おはよう、ア：ありがとう、シ：失礼します、ス：すみません」というそれぞれの挨拶の頭文字と、僕たちにこの言葉を通じ、文字通り砂漠地帯にある水源のような瑞々しい存在になって欲しいという思いを込めた先生の教えです。外務省に奉職し、現在はアメリカ合衆国日本大使館に勤務しておりますが、社会に出てみると、たとえ言葉の違う国であっても、挨拶が全ての始まりであり、また、人間関係の基礎になっていることを改めて感じ、この「オアシス」を思い出します。

毎朝登校したときから、給食の時間が待ち遠しいというのが、未だに食いしん坊である僕の一番の思い出です。ソフト麺、揚げパン、フルーツのミルクあえ。欠席の子の分はそれこそ奪い合いました。また、昼休みのサッカーや鬼ごっこ、山崎富士、毎日のように暗くなるまで走り回っていた頃の思い出が今の自分を支えてくれています。



「夏の風物詩」

平成元年卒業 岩倉 舞 (旧姓 佐藤)

山崎小学校創立100周年おめでとうございます。

小学校生活での夏のお楽しみと言えばプール遊びが代表的でしょうが、ご存知のとおり山崎小学校にはプールがありません。もちろん私が通っている時もプールはありませんでした。その代わり1年生と2年生は山崎小学校の校庭にあるスプリンクラーを使って水遊びをしていました。男の子も女の子もパンツ一丁でスプリンクラーから出るお水を浴びながら校庭を走り回って遊ぶのです。最初はパンツ一枚というのがちょっと恥ずかしくてモジモジしている女の子たちも、いざ水が撒かれ始めると恥ずかしさも忘れて校庭を走り回っていたように思います。男の子はふざけてお尻に水を受けてみたり、スプリンクラーから出てくる水を縄跳びのように飛び越えてみたり、時折できる虹を発見したりとそれはとても楽しい夏の遊びでした。

いまの子どもたちはスプリンクラー遊びをする機会がありませんが、一度くらい味あわせてあげたいと思ってしまいます。



「砂場からリングへ」

平成2年卒業 望月 享

山崎小学校創立100周年おめでとうございます。自分は、ドラゴンゲートというプロレス団体で『横須賀享』のリングネームでプロレスラーをやっている、望月享と申します。

母校である山崎小学校での思い出ということですが、享少年はとにかく校庭で遊んでいた記憶があります。当時はプロ野球選手になることを夢見ていたので、野球やソフトボールをやっていました。サッカーは下手でした。

校庭のはじにあった砂場では、よくアクロバットの的なことをしていました。タイヤを踏み切り板代わりに砂場に向かって前宙をして飛び込んだりしていました。今でこそ無茶なことはしませんが、当時の享少年は、全く恐れを知らずにやっていました。校庭の砂場は、今の仕事の原点かもしれません。

校庭といえば、イチョウの木の銀杏集めの実がとにかくくさかったことや、運動会で応援団をやったことを思い出しますが、やはり一番の思い出というか原点は、砂場ですね。



「歌声委員」

平成6年卒業 星野 美智子 (旧姓 佐野)

創立100周年おめでとうございます。私が在籍していた時は80周年を記念して航空写真を撮ったり、生徒がシンボルマーク・歌を作る等して、お祝いをしたのを覚えています。

さて、私の在籍当時の思い出は、3年間続けた歌声委員の活動です。1年生の時に歌声委員の人が教室に来て、優しく歌を教えてくれた事が嬉しかったのと、朝礼や運動会の時にアコーディオンを弾いて歌の伴奏をしている姿を見て、ずっと憧れていました。アコーディオンを全校生徒の前で弾くのは緊張しましたが、成功した時は満足感で一杯になりました。

しかし、大変な思いもしました。低学年の子に歌を教える時に、どうしたら一緒に歌ってくれるのか悩んだ事もあります。そんな時、先生から「自分が一番大きい声で、楽しく歌いなさい。」と教えて頂きました。時間はかかりましたが、だんだん低学年の子も歌ってくれるようになり、気がつくともみんなと仲良くなり、楽しい時間を過ごしていました。

今、私は幼稚園の先生として働いています。子ども達に歌を教える時は、歌声委員の活動や小学校の先生に教えて頂いた事も頭に入れながら授業をしています。



「思い出と在校生のみなさんへ」

平成15年卒業 熊倉 聡美

私は、平成15年に山崎小学校を卒業し、現在は、看護師になるために看護学校へ通学しています。勉強や実習で毎日大変ですが、夢を叶えるために頑張っています。

山崎小学校での思い出は、今でも鮮明に残っています。日々の授業や委員会、クラブ活動、学校行事では先生方や友達と一緒に取り組みました。また、ミニバスケットボールチームに所属していたため、仲間との絆がより深まりました。その仲間達とは今後も一生の友達であると思います。

現在通学している皆さんに伝えたいことは、「学校で沢山学び、沢山遊んで、友達を大切にしてください。」ということです。この先悩むことが必ずあると思いますが、その時にそばにいてくれるのが本当の友達です。そして友達が辛い時は、そばにいてあげてください。

皆様の益々のご清栄をお祈り致します。





創立100周年記念事業実行委員会名簿

2009年度 創立100周年準備委員会

- 【委員長】 石井 義治 (第28代PTA会長)
- 【副委員長】 柏木 雅一 (校長)
渡邊 弘美 (第29代PTA会長)
- 【事務局】
- 学 校 木屋 哲人 (教頭)
- PTA 古屋 久美子 (第30代PTA会長)
岡 明美 仲間 和子 舞田 宏江
- 【会 計】
- PTA 岩堀 真由美
- 【会計監査】
- 学 校 百瀬 美佐子
- PTA 齋藤 洋子
- 【顧 問】 中村 勉 (前校長)
- 外岡 幸吉 (連合町内会長・学校評議員)
- 庄内 重和 (町内会長・学校評議員)
- 石渡 誠二 (町内会長)

2010年度 創立100周年準備委員会

- 【委員長】 渡邊 弘美 (第29代PTA会長)
- 【副委員長】 柏木 雅一 (校長)
岡 明美 (元PTA副会長)
- 【事務局】
- 学 校 丹治 美穂子 (教頭) 百瀬 美佐子
- 山本 典子 佐藤 園美 三浦 美明
- PTA 浅井 克 岡 照夫 石渡 みのり 石渡 康子
- 岩堀 真由美 佐々木 恭子 高橋 こずえ 仲間 和子
- 舞田 宏江 諸泉 綾子



- 【会 計】
P T A 古屋 久美子
- 【会計監査】
学 校 大津 裕子
P T A 齋藤 洋子
- 【顧 問】
中村 勉（前校長）
外岡 幸吉（前連合町内会長・学校評議員）
庄内 重和（連合町内会長・学校評議員）
石渡 誠二（連合町内会長）

2011年度 創立100周年実行委員会

- 【委員長】 岡 照夫（元PTA副会長）
- 【副委員長】 柏木 雅一（校長）
内田 吉彦（PTA会長）
- 【事務局】
学 校 相田 真弓（教頭）
百瀬 美佐子 佐藤 園美 三浦 美明
山本 典子
P T A 浅井 克 石渡 みのり 石渡 康子 岩堀 真由美
岡 明美 緒方 寛子 小俣 たかね 佐々木 恭子
高橋 こずえ 仲間 和子 古屋 久美子 水野 多恵子
諸泉 綾子 渡邊 弘美
- 【会 計】
P T A 西田 綾子 舞田 宏江
- 【会計監査】
学 校 大津 裕子
P T A 辰馬 和義
- 【顧 問】
外岡 幸吉（三春町地区社会福祉協議会会長・学校評議員）
庄内 重和（連合町内会長・学校評議員）
石渡 誠二（連合町内会長）



《 記 念 誌 制 作 》

【 企画・制作・編集 】

石渡 康子

岩堀 真由美

仲間 和子

渡邊 弘美

【 表紙写真 】

田村 健一

【100周年シンボルマーク】

仲間 和子

【100周年スローガン】

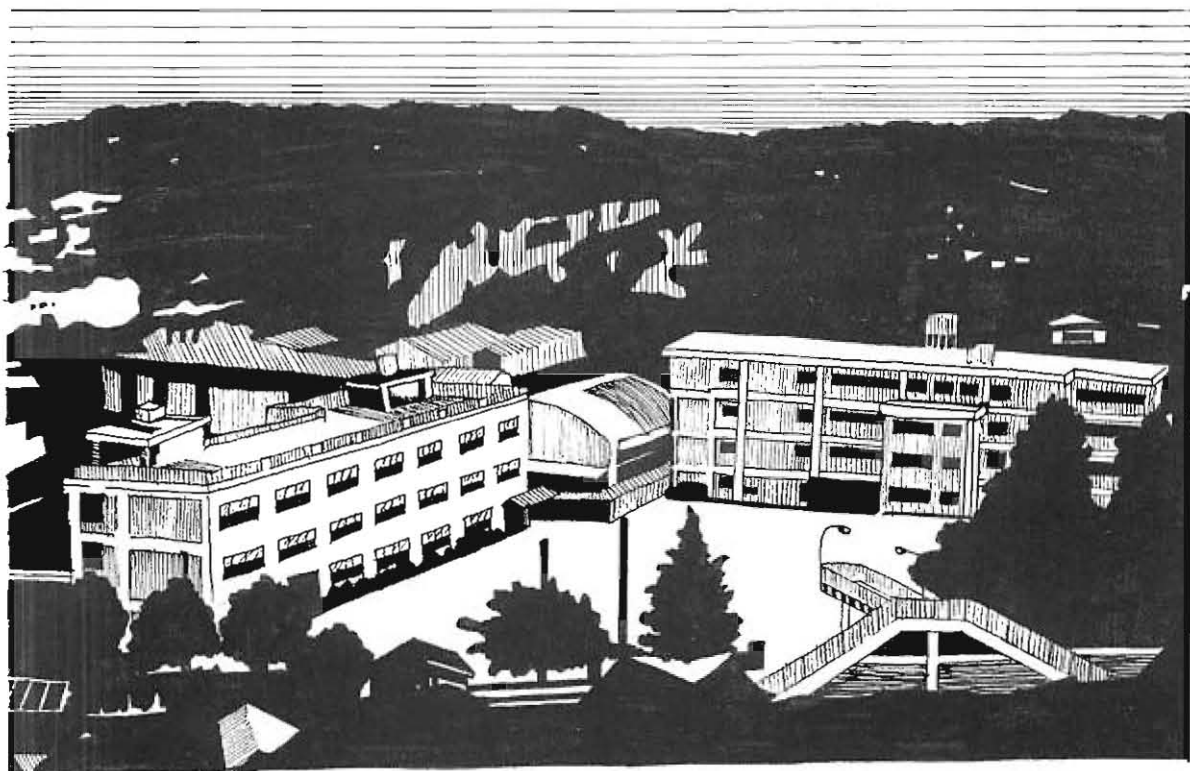
西田 綾子

【 挿 絵 】

小柳 佳己

【 航空写真撮影 】

株式会社スカイワールド





「あとかき」

「ふれあいを だいじに はぐくみ 100周年」のスローガンのもと3年前より取り組んでまいりました創立100周年記念誌が多くの方のお力を結集し、ここに発行の運びとなりました。編集にあたりご協力いただいた皆様には心から感謝申し上げます。

私はこの記念すべき年に着任いたしましたので、この記念誌によって山崎小学校のこれまでの歩みや学校に関わってこられた多くの方々の思いを知ることができました。

数回にわたり土地が拡張されたことや関東大震災での倒壊、その時山崎青年団によりバラックの校舎が建てられたこと。大正から昭和初期、校庭で練習を重ねた少年野球の児童が半島のみならず関東大会で優勝、全国大会に出場したこと。昭和40年には、休日に講堂付近より出火があり、児童の早期発見に

より全焼はまぬがれたこと。卒業生の保護者の方々が懐かしそうに語る「山崎富士」の遊具施設完成は、PTAの方々が寄付をつのつてできたことなど、山崎小学校が地域の方々や保護者・児童など多くの人に支えられ愛され歴史を重ねてきたことが伝わり、胸を熱くいたしました。

創立100周年の記念事業を通し山崎小学校に寄せる方々の思いを受け止め、児童と共に次の世代に受け継ぐことが私たちの使命と、今後もさらに努力を重ねていく所存です。これまでの皆様のご支援ご協力に心より感謝するとともに、山崎小学校の更なる発展のため変わらぬご支援ご協力をお願いし、結びといたします。

教頭 相田 真弓

平成23年度 山崎小学校職員

校長 柏木 雅一
教頭 相田 真弓

井上 貴恵	鈴木 知代	高松 伸子	坂本 明美	指宿 香奈子
永井 優子	百瀬 美佐子	久馬 哲志	金岡 慶子	野口 大介
大泉 陽子	大津 裕子	五島 永幸	佐藤 園美	白澤 明子
飛鳥井 淳	石渡 直樹	三浦 美明	照沼 恵美子	磯口 弘樹
山本 典子	長塚 勇人	齋藤 多恵子	川村 はるみ	品川 悦子
渡邊 文子	吉田 美智江	本間 恵	荻田 真由美	岸田 千恵子

兼尾 由美子 遠藤 幸子 吉本 実 佐々木 由美子 早川 完二 古屋 薫
キャメロン マクローリン 桜井 智子 坂本 珠子 飯田 麻粧美 山野井 正子 高橋 早苗

校医 山下 隆司 木原 圭一 中村 昌生 西村 公一 新関 一成
学校評議員 外岡 幸吉 澁谷 幸子 藤澤 浩子 中谷 始 庄内 重和



横須賀市立山崎小学校 創立 100 周年記念誌

発行日 平成 23 年 (2011 年) 11 月 19 日
編集・発行 横須賀市立山崎小学校
創立 100 周年実行委員会
〒 238-0014
横須賀市三春町 6 - 4
T E L 046 - 822 - 0059
F A X 046 - 823 - 8195

印刷 有限会社 サガラ印刷所
〒 238-0022
横須賀市公郷町 1 - 1 8
T E L 046 - 836 - 5361
F A X 046 - 836 - 5306

